

大統明鑑抄 全

1
203

006238-000-1

1-203

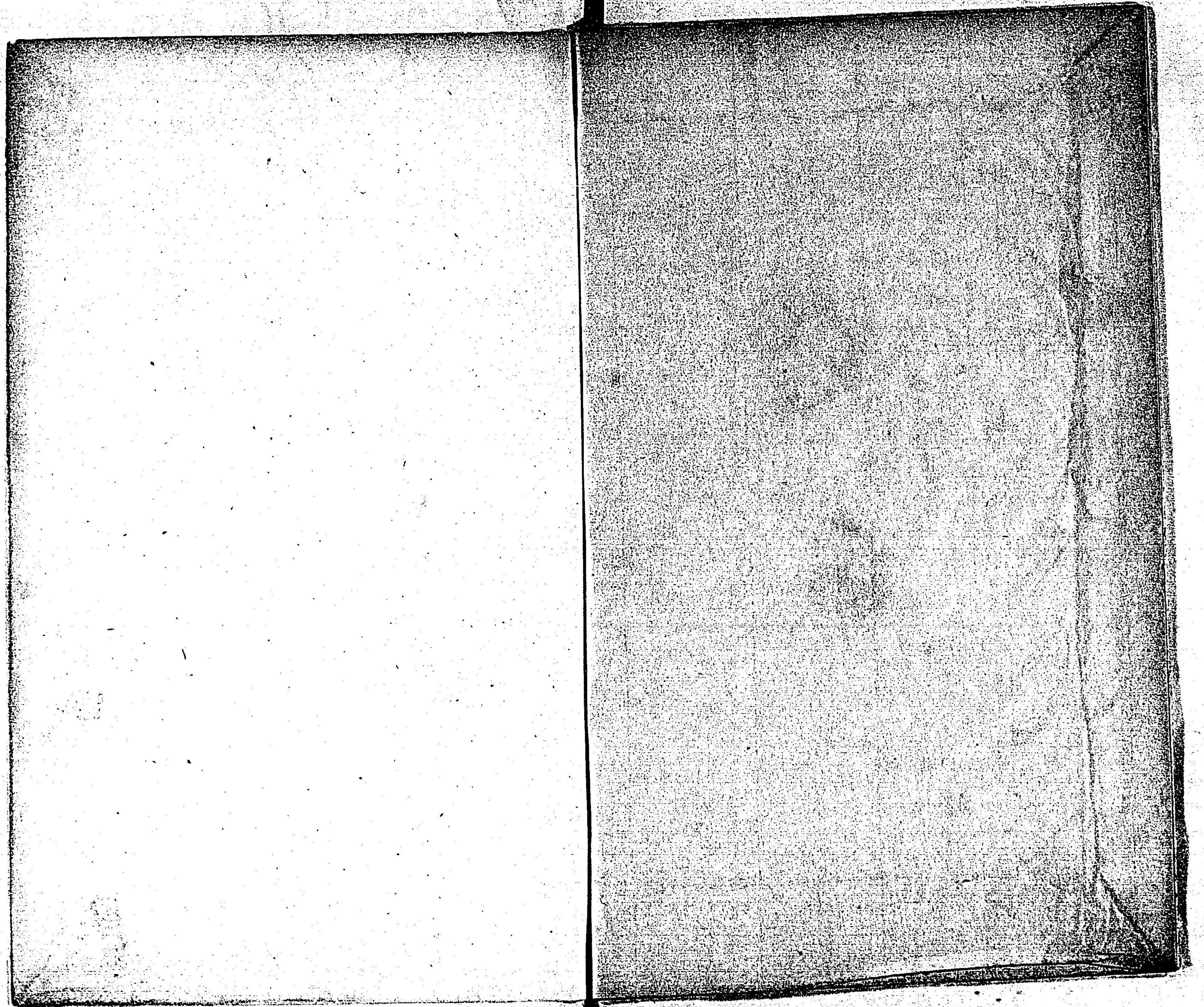
大統明鑑抄

小野 正弘/著

M28

ACJ-0340





小松宮殿下原書御題字

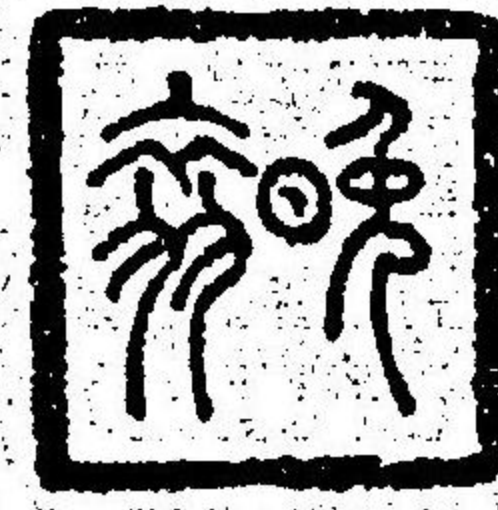
皇朝御製

本



反始

明治廿七年仲夏
彰仁親王題



高崎小松宮別當原序

國家の爲に
皇の御代に
皇の御代に
皇の御代に
皇の御代に
皇の御代に
皇の御代に
皇の御代に
皇の御代に
皇の御代に

Q 1000 2000 3000 4000 5000
6000 7000 8000 9000 10000
11000 12000 13000 14000 15000
16000 17000 18000 19000 20000
21000 22000 23000 24000 25000
26000 27000 28000 29000 30000
31000 32000 33000 34000 35000
36000 37000 38000 39000 40000
41000 42000 43000 44000 45000
46000 47000 48000 49000 50000

51000 52000 53000 54000 55000
56000 57000 58000 59000 60000
61000 62000 63000 64000 65000
66000 67000 68000 69000 70000
71000 72000 73000 74000 75000
76000 77000 78000 79000 80000
81000 82000 83000 84000 85000
86000 87000 88000 89000 90000
91000 92000 93000 94000 95000
96000 97000 98000 99000 100000

ら すが、すゝめあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ

あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ

明治二十七年七月下旬

従三位勳二位男藤原朝臣公風

緒言

大統明鑑は、吾が同郷なる小野正弘氏が纂められたるものにて、こそその秋、氏數多の財を費して印刷せられ、賢きみあたりは獻られし後、小松宮殿下の厚き思召にて、全國地方長官・市郡區長、すべて六百二十餘名へ、壹部づゝをぞ送らせ給ひたる、そはこの長官以下の人々は、各其管下の民政を預らるゝものなれば、この人々のよくそを心得おかれなば、おのづから一般にも及びなましとのわざになむ、かゝる特典ありしより、この獻納寄贈の残りの冊をも、世の常の賣本と均しくせむは、いかゞなる事なりとて、廣告をもとゝめて非賣品とせられたり、これ國の爲にせると、利の爲にせるとの、區分なくなりなむことの本意なければならむか、此、又切にこひ求めらるゝ人には、實費もて分たれしのみにして、

其の外の一般が讀み見る事能はざりき、茲に予思へらく氏の謙退の旨はさることながら、廣く世の臣民に、皇統一系の帝國たる實象を辨へしめむこそ須要なれば、同氣一體の血脉をうけつゝある家毎には、やかて一冊を挿むと云ふべくあらまほしと、よりてこたび氏に謀り、この文の内なるある部分をばはぶきて、世々の御門にかゝる節々のみをついで、殊に一目し去りぬべく排列し、且携ふるにも便りよからしめたり、よりて名を大統明鑑抄とぞ名つけぬる、さてかく事をきてはあれと、三千年一日の如き君民の契りは、この御代御代の即位より崩御都邑より山陵までのさまにて、いと明にあらるべくなむ、いでやわが海陸の皇軍が、彼の老清國の東端より、潮の湧くが如く侵入しつゝ、義勇奉公の大任を盡して、世界に比類なき振舞をなせるも、この祖先より遺

傳せる忠君愛國の至誠ある故にこそ、されは御國の民草は、この至誠をして子孫が性とせざるべからざると同時に、建國の体を明に辨へおかむこそ緊要なれば、かくは物したるになむ、其のくわしき事どもは、尙本書につきて見られよかし、今この抄本を印行するに當り、本書の世に布流せる事の、少かる由をも記して、緒言とほなしぬ、

明治廿八年三月

小柳津要人識

[The main body of the page contains a large, empty rectangular frame, likely representing a diagram or a table that is either blank or has been removed during the scanning process.]

皇統畧表 ○ヲ標スルハ贈天皇トス

伊弉諾神

天照大神

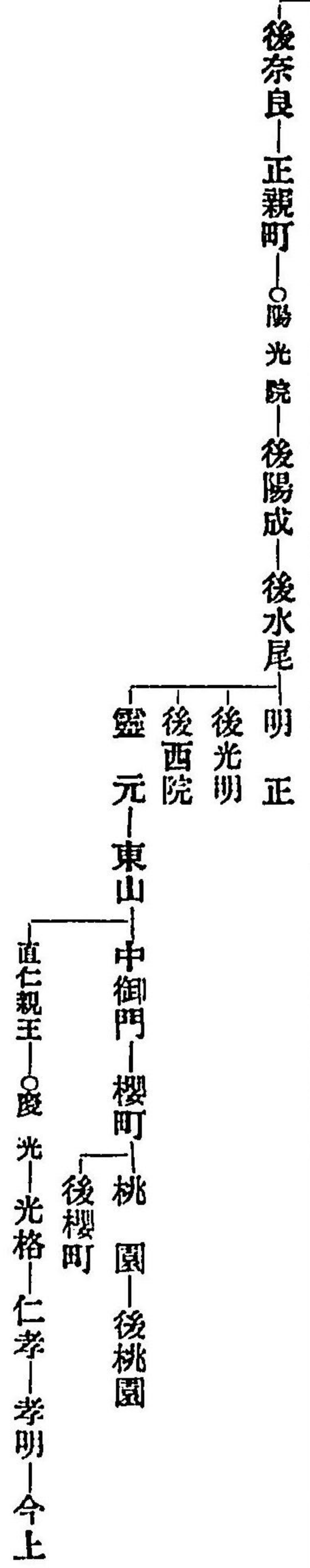
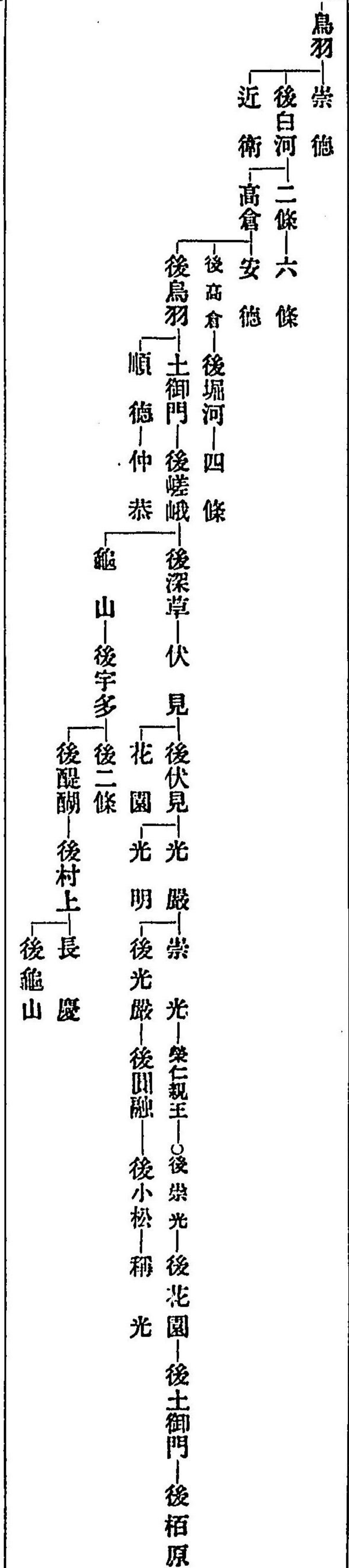
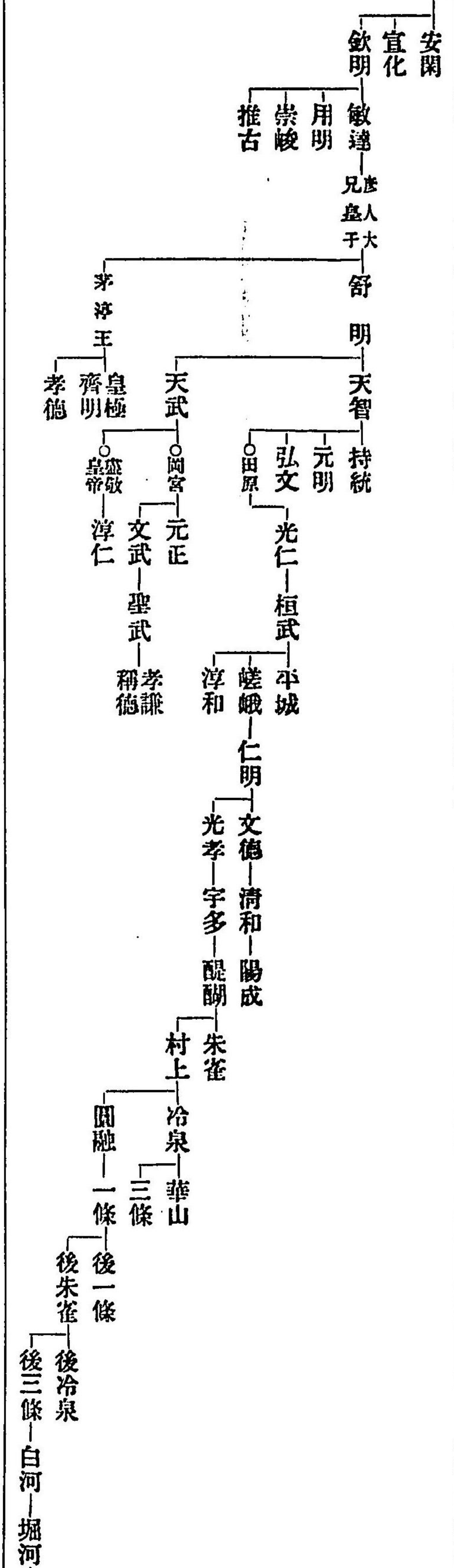
忍穗耳尊

瓊瓊杵尊

火火出見尊

葦不合尊

神武 綏靖



列聖登極年紀 附漢洋相當年紀

各帝臨終ノ下ニ單記セルハ登極年紀ニシテ其下ニ分記セルハ漢洋年紀トス 又垂仁帝ヨリ以上ノ洋年紀ハ紀元前ニシテ行帝ヨリ以下ハ紀元後トス

Table with columns for Emperor Name, Japanese Era, Chinese Era, and corresponding years. Includes entries like 神武, 安寧, 孝昭, 崇德, 仁德, etc.

六六〇	五八一	五四八	五二〇	四七五	三二二	三二二	二二〇	二二四	一五二	一五二	一六〇	一六〇	一六〇	一六〇	一六〇	一六〇	一六〇	一六〇	一六〇
神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代
神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代
神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代
神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代
神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代
神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代
神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代
神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代
神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代	神代

大統明鑑抄

○神代

天御中主神

高皇產靈神

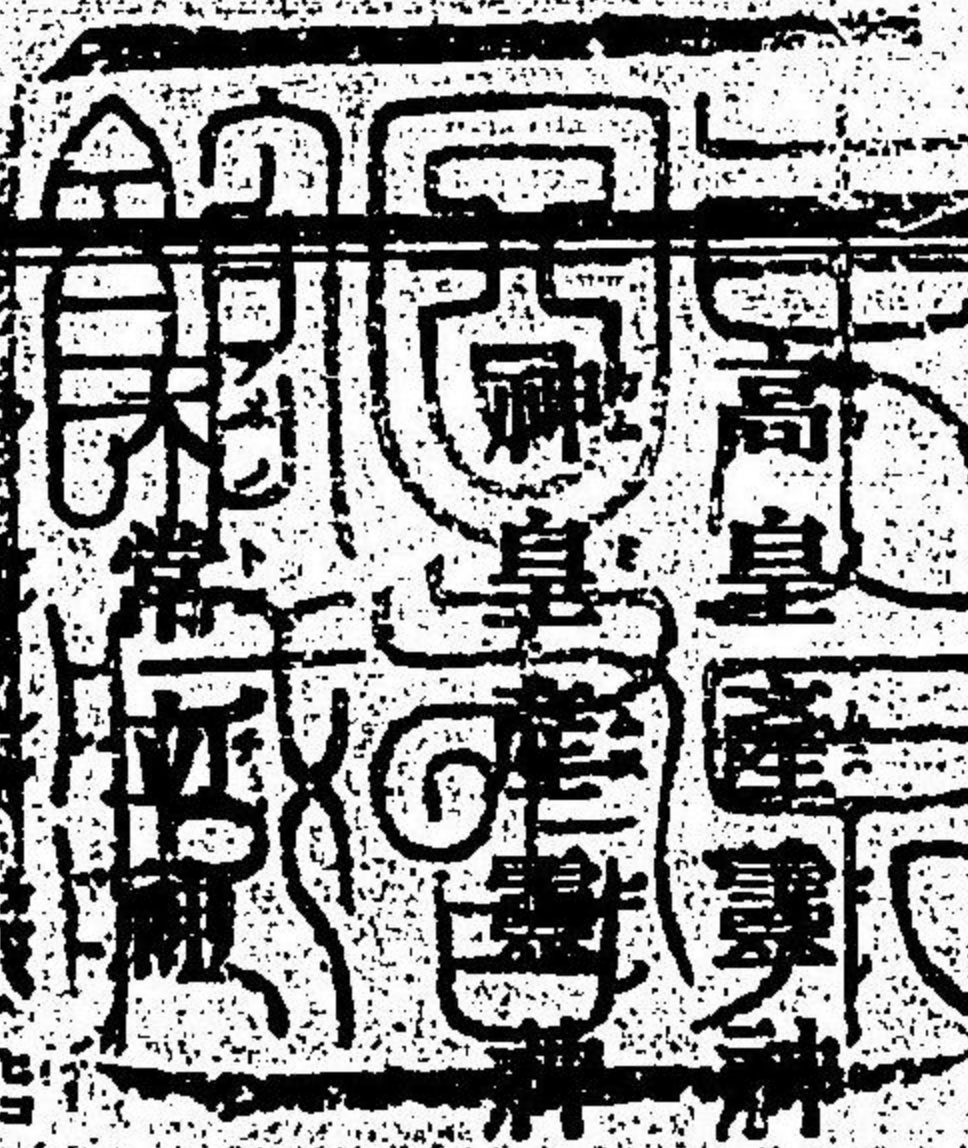
神皇產靈神

天常立神

可美鞞牙彦舅神

國常立神

豐斟淳神



天統明鑑抄 神代 卷第一 神代 卷第二 神代 卷第三 神代 卷第四 神代 卷第五 神代 卷第六 神代 卷第七 神代 卷第八 神代 卷第九 神代 卷第十

埜土煮神
沙土煮神

角機神

活機神

大戸道神

大戸邊神

面足神

惶根神

伊弉諾神

伊弉冉神

天照皇大神

正哉吾勝勝速日天忍穗耳尊

妃 萬幡豐秋津姬命

天饒石國饒石天津日高彥火瓊瓊杵尊

葬日向國可愛山陵今薩摩國高城郡水引村大字宮內

妃 木花開耶姬命

天津日高彥火火出見尊

葬日向國高屋山上陵今大隅國始良郡溝邊村大字麓

妃 豐玉姬命

天津日高彥波瀲武鸕鷀草葺不合尊

葬日向國吾平山上陵今大隅國肝屬郡始良村大字上名

紀元前百六十七年
耶蘇紀元前八百廿七年

紀元前百五十九年
耶蘇紀元前八百十九年

紀元前百四十三年
耶蘇紀元前八百〇三年

紀元前百三十六年
耶蘇紀元前七百九十六年

妃 玉依姬命

○人皇

神武天皇

神武天皇 神日本磐余彥尊

幼名狹野 御父速波瀲武鸕鷀草葺不合尊 第四子 御母玉依姬命

降誕 庚申年 紀元前六十一 正月朔 甲辰

立太子 甲戌年 年十五歲

東征 甲寅年十月五日 酉辛

奠都 己未年三月七日 卯丁 都大和國畷傍是謂橿原宮 今奈良縣下大和國高市郡白檮村元畷傍村

即位 辛酉年 紀元 正月朔 庚〇年六十二歲 明治五年十一月二十五日 詔為紀元

崩御 丙子年 紀元七十六年 三月十一日 陽曆四月三日 庚辰

在位 七十五年三月 自紀元元年正月 至紀元七十六年三月

聖壽 百三十七歲 自紀元前六十一年 至紀元七十六年

山陵 丁丑年九月十二日 丙寅 葬大和國高市郡畷傍山東北陵 今奈良縣下大和國高市郡白

櫻村大
字洞

空位 三年九ヶ月 自紀元七十六年四月
至紀元八十年十二月

第二
綏靖天皇

神渟名川耳尊

御父神武天皇 第三子
御母媛踏踏五十鈴媛命

降誕 己丑年 紀元二
十九年

立太子 壬寅年正月三日 甲〇年十四歲
寅

即位 庚辰年 紀元八
十年 正月八日 己〇年五十二歲
卯

奠都 都大和國葛城是謂高丘宮 今奈良縣下大和國葛上郡吐田
郷村元祿臨村一宮主神社ノ邊

崩御 壬子年 紀元百
十二年 五月十日 陽曆六月二
十二日癸酉

在位 三十二年五ヶ月 自紀元八十年正月
至紀元百一十二年五月

聖壽 八十四歲 自紀元二十九
至紀元百一十二年

山陵 癸丑年十月十一日 丙申 葬大和國高市郡桃花鳥田丘上陵 今奈良縣下
大和國高市

郡白樺村
大字四條

第三
安寧天皇

磯城津彥玉手看尊

御父綏靖天皇 第一子
御母五十鈴依媛命

降誕 甲申年 紀元八
十四年

立太子 甲辰年正月七日 戊〇年二十一歲
子

即位 癸丑年 紀元百
十三年 七月九日 乙〇年三十歲
丑

奠都 甲寅年都大和國片鹽是謂浮孔宮 今奈良縣下大和國葛下郡
浮穴村元三倉堂村ノ地

崩御 庚寅年 紀元百
五十年 十二月六日 陽曆翌年一月
十一日乙卯

在位 三十七年六ヶ月 自紀元百一十三年七月
至紀元百五十年十二月

聖壽 六十七歲 自紀元八十四年
至紀元百五十年

山陵 辛卯年八月葬大和國高市郡畝傍山西南御陰井上陵 今奈良縣下大和
國高市郡白樺村

大字
吉田

第四
懿德天皇

大日本彥耜友尊

御父安寧天皇 第二子
御母淳名底仲媛命

降誕 戊申年 紀元百八年

立太子 癸亥年正月朔 壬〇年十六歲

即位 辛卯年 紀元百一十一年 二月四日 壬〇年四十四歲

奠都 壬辰年正月五日 戊 都大和國輕是謂曲峽宮今奈良縣下大和國高市郡白檮村(元見瀨村ノ間)字末波利乎佐

崩御 甲子年 紀元百八十四年 九月八日 陽曆十月一日 辛未

在位 三十三年八月 自紀元百五十四年二月至紀元百八十四年九月

聖壽 七十七歲 自紀元百八十四年至紀元百八十四年

山陵 乙丑年十月十三日 庚 葬大和國高市郡畝傍山南織沙谿上陵今奈良縣下大和國高市郡白檮村大字池尻

空位 一年三月 自紀元百八十四年十月至紀元百八十五年十二月

第五 孝昭天皇

觀松彦香殖稻尊

御父懿德天皇 第一子 御母天豐津媛命

降誕 乙未年 紀元百一十五年

立太子 壬子年二月十二日 戊〇年十八歲

即位 丙寅年 紀元百八十六年 正月九日 甲〇年三十二歲

奠都 同年七月朔 甲 都大和國掖上是謂池心宮今奈良縣下大和國葛上郡秋津村元池ノ内村今盛原ノ地

崩御 戊子年 紀元二百六十八年 八月五日 陽曆八月三十一日 辛酉

在位 八十二年八月 自紀元百八十六年正月至紀元二百六十八年八月

聖壽 百十四歲 自紀元百五十五年至紀元二百六十八年

山陵 辛卯年八月廿日 己 葬大和國葛上郡掖上博多山上陵今奈良縣下大和國葛上郡八ヶ村組合ノ内字三室村

第六 孝安天皇

大日本足彥國押人尊

御父孝昭天皇 第二子 御母世襲足媛命

降誕 甲寅年 紀元二百三十四年

立太子 辛酉年正月十四日 庚〇年二十歲

即位 己丑年 紀元二百六十九年 正月七日 辛〇年三十六歲

第七 孝靈天皇

大日本根子彦太瓊尊

御父孝安天皇 第一子
御母押姬命

奠都 庚寅年十月都大和國室是謂秋津島宮今奈良縣下大和國葛上郡秋津村元室村ノ内

崩御 庚午年紀元三百七十年正月九日陽曆二月廿三日丙午

在位 百一年一ヶ月自紀元二百六十九年正月至紀元三百七十年正月

聖壽 百三十七歲自紀元二百三十四年至紀元三百七十四年

山陵 庚午年九月十三日丙午葬大和國葛上郡玉手丘上陵今奈良縣下大和國葛上郡按上村大字玉手

降誕 己卯年紀元三百十九年

立太子 甲辰年正月五日癸〇年二十六歲

奠都 庚午年十二月四日丙寅都大和國黑田是謂盧戸宮今奈良縣下大和國城下郡都村(元黑田村ノ内)

即位 辛未年紀元三百七十一年正月十二日癸〇年五十三歲

崩御 丙戌年紀元四百四十六年二月八日陽曆三月廿三日癸丑

第八 孝元天皇

大日本根子彦國牽尊

御父孝靈天皇 第一子
御母細媛命

在位 七十五年二ヶ月自紀元三百七十一年正月至紀元四百四十六年二月

聖壽 百二十八歲自紀元三百十九年至紀元四百四十六年

山陵 壬辰年九月六日癸卯葬大和國葛下郡片丘馬坂陵今奈良縣下大和國葛下郡王寺村大字王寺

降誕 戊子年紀元三百八十八年

立太子 丙午年正月朔己〇年十九歲

即位 丁亥年紀元四百四十七年正月十四日甲〇年六十歲

奠都 庚寅年正月十一日甲午都大和國輕是謂境原宮今奈良縣下大和國高市郡白檮村(元見瀬村ノ内)佐加技原ノ地

崩御 癸未年紀元五百三年九月二日陽曆十月十一日癸酉

在位 五十六年九ヶ月自紀元四百四十七年正月至紀元五百三年九月

聖壽 百十六歲自紀元三百八十八年至紀元五百三年

山陵 戊子年二月六日壬子葬大和國高市郡劔池島上陵今奈良縣下大和國高市郡白檮村大字石川

第九 開化天皇

御父孝元天皇 第二子
御母鬱色謎命

降誕 癸巳年 紀元四百五十二年

立太子 戊申年正月十四日 壬〇年十六歲

奠都 甲申年十月十三日 戊申 都大和國春日 是謂率川宮 今奈良縣下大和國添下郡率川沿岸奈

其町ノ西部
子守町ノ邊

即位 同年 紀元五百一十一年八月十八日 壬〇年五十二歲

崩御 癸未年 紀元五百六十三年 四月九日 陽曆五月廿一日 甲子

在位 五十八年六月 自紀元五百四十四年十一月 至紀元五百六十三年四月

聖壽 百一十一歲 自紀元四百五十二年 至紀元五百六十三年

山陵 癸未年十月三日 乙卯 葬大和國添上郡春日率川坂上陵 今奈良縣下大和國添上郡奈

坂地方町

第十 崇神天皇

御父開化天皇 第二子
御母伊香色謎命

降誕 癸巳年 紀元五百一十三年

立太子 辛亥年正月五日 丁〇年十九歲

即位 甲申年 紀元五百六十四年 正月十三日 甲〇年五十二歲

奠都 丙戌年九月都大和國磯城 是謂瑞籬宮 今奈良縣下大和國城上郡三輪村元金屋村志紀神社ノ西

崩御 辛卯年 紀元六百一十一年 十二月五日 陽曆翌年一月七日 壬子

在位 六十八年 自紀元五百六十四年正月 至紀元六百三十二年十二月

聖壽 百十九歲 自紀元五百三十一年 至紀元六百三十二年

山陵 壬辰年八月十一日 甲寅 葬大和國城上郡山邊道上陵 今奈良縣下大和國式上郡柳本村大字柳本

第十一 垂仁天皇

御父崇神天皇 第三子
御母御間城姬命

降誕 壬子年 紀元五百九十二年 正月朔 己亥

立太子 辛未年四月十九日 丙〇年二十歲

即位 壬辰年 紀元六百三十二年 正月二日 戊〇年四十一歲

奠都 癸巳年十月都大和國纏向是謂珠城宮 今奈良縣下大和國城上郡纏向村元穴師村珠城山ノ麓

崩御 庚午年 紀元七百三十年 七月十四日 陽曆八月六日 戊午

在位 九十八年七ヶ月 自紀元六百三十二年正月 至紀元七百三十年七月

聖壽 百二十九歲 自紀元五百九十二年 至紀元七百三十年

山陵 庚午年十二月十日 壬子 葬大和國添下郡菅原伏見東陵 今奈良縣下大和國添下郡都跡村大字尼ヶ辻 字齊音寺

第十二 景行天皇

大足彥忍代別尊

御父垂仁天皇 第三子

御母日葉酢媛命

降誕 戊申年 紀元六百四十八年

立太子 戊辰年正月朔 庚〇年二十一歲

即位 辛未年 紀元七百三十一年 七月十一日 陽曆八月廿〇年八十四歲 二日己卯

奠都 甲戌年十一月朔 庚辰年 都大和國纏向是謂日代宮 今奈良縣下大和國城上郡纏向村元穴師村

橿原ト稱スル地

遷都 戊辰年二月十一日 辛亥 幸近江國志賀是謂高穴穗宮

崩御 庚午年 紀元七百九十年 十一月七日 陽曆十二月廿三日 辛卯 崩志賀高穴穗宮

在位 五十九年五ヶ月 自紀元七百三十一年七月 至元七百九十年十一月

聖壽 百四十三歲 自紀元六百四十八年 至紀元七百九十年

山陵 壬申年十一月十日 壬午 葬大和國城上郡山邊道上陵 今奈良縣下大和國城上郡柳本村大字邊谷

第十三 成務天皇

稚足彥尊

御父景行天皇 第四子

御母八坂入媛命

降誕 甲申年 紀元七百四十四年

立太子 辛酉年八月四日 壬〇年三十八歲

即位 辛未年 紀元七百九十一年 正月五日 戊〇年四十八歲

奠都 辛未年都近江國滋賀是謂高穴穗宮 今滋賀縣下近江國滋賀郡坂本村元穴太村ノ地

崩御 庚午年紀元八百五十年 六月十一日陽曆七月廿九日己卯

在位 五十九年六月自紀元七百九十一年正月至紀元八百五十年六月

聖壽 百七歲自紀元七百四十四年至紀元八百五十年

山陵 辛未年九月六日丁酉葬大和國添下郡狹城盾列池後陵今奈良縣下大和國添下郡平城村大字山陵

空位 一年六ヶ月自紀元八百五十年七月至紀元八百五十二年十二月

第十四 仲哀天皇

足仲彥尊

御父日本武尊 第二子 御母兩道入姬命

降誕 己酉年紀元七百六十九年

立太子 戊午年三月朔庚〇年七十歲

即位 壬申年紀元八百五十二年 正月十一日庚〇年八十四歲

西征 癸酉年

崩御 庚辰年紀元八百六十年 二月六日陽曆三月八日戊申崩筑前國檀日行宮今福岡縣下筑前國糟屋郡香

第十五 應神天皇

譽田別尊

御父仲哀天皇 第四子 御母神功皇后

在位 八年二ヶ月自紀元八百五十二年正月至紀元八百六十年二月

聖壽 九十二歲自紀元七百六十九年至紀元八百六十年

山陵 壬午年十一月八日甲午葬河內國志紀郡惠我長野西陵今大阪府下河內國丹南郡長野村大字野村大

降誕 庚辰年紀元八百六十年 十二月十四日辛亥降誕筑前國宇瀨

立太子 癸未年正月三日戊〇年四歲

即位 庚寅年紀元九百三十年 正月朔丁〇年七十一歲

奠都 都大和國輕島是謂豐明宮今奈良縣下大和國高市郡白檀村元大輕村ノ間ノ地

崩御 庚午年紀元九百七十年 二月十五日陽曆四月一日戊申

在位 四十年二ヶ月自紀元九百三十年正月至紀元九百七十年二月

聖壽 百一十一歲 自紀元八百六十年 至紀元九百七十年

山陵 辛未年葬河內國志紀郡惠我藻伏岡陵 今大阪府下河內國古市郡古市村大字畷田

空位 二年十月 自紀元九百七十年三月 至紀元九百七十二年十二月

仁德天皇

大鷦鷯尊 御父應神天皇 第四子 御母仲姬命

降誕 丁丑年 紀元九百十七年

即位 癸酉年 紀元九百七十三年 正月三日 己卯年 五十七歲

奠都 都攝津國難波是謂高津宮 今大阪府下攝津國東成郡大阪安國寺坂ノ北小祠ノ邊

崩御 己亥年 紀元九百五十九年 正月十六日 陽曆二月八日 癸卯

在位 八十六年一月 自紀元九百七十三年正月 至紀元九百五十九年正月

聖壽 百四十三歲 自紀元九百七十七年 至紀元九百五十九年

山陵 己亥年十月七日己丑葬和泉國大鳥郡百舌鳥耳原中陵 今大阪府下和泉國大鳥郡

郡船松村 大字船松

履中天皇

大兄去來穗別尊 御父仁德天皇 第一子 御母磐之媛命

降誕 己卯年 紀元九百七十九年

立太子 癸卯正月十五日 丁卯年 二十五歲

即位 庚子年 紀元九百六十年 二月朔 壬子年 八十二歲

奠都 辛丑年十月都大和國磐余是謂稚櫻宮 今奈良縣下大和國十市郡安倍村元池ノ内村ノ地

崩御 乙巳年 紀元九百六十五年 三月十五日 陽曆四月三十日 丙申

在位 五年二月 自紀元九百六十年二月 至紀元九百六十五年三月

聖壽 八十七歲 自紀元九百七十九年 至紀元九百六十五年

山陵 乙巳年十月四日 壬子年 葬和泉國大鳥郡百舌鳥耳原陵 今大阪府下和泉國大鳥郡神石村

大字神 石津

反正天皇

丹比瑞齒別尊 御父仁德天皇 第三子 御母磐之媛命

履中 反正 允恭

十

降誕 丙申年 紀元九百九十六年 降誕淡路宮

立太子 辛丑年正月四日 己〇年六十六歲

即位 丙午年 紀元千九百零六年 正月二日 戊〇年七十一歲

奠都 同年十月都河內國丹比是謂柴籬宮 今大阪府下河內國丹比郡松原莊 松原村元上田村廣庭祠東北ノ地

崩御 庚戌年 紀元千九百零七年 正月廿三日 陽曆二月十三日 丙午

在位 四年一ヶ月 自紀元千九百零六年正月 至紀元千九百零七年正月

聖壽 七十五歲 自紀元九百九十六年 至紀元千九百零七年

山陵 丙辰年十一月十一日 甲申 葬和泉國大鳥郡百舌鳥耳原北陵 今大阪府 下和泉國 大鳥郡向井 村大字中筋

空位 二年十ヶ月 自紀元千九百零七年二月 至紀元千九百零九年十一月

允恭天皇

雄朝津間稚子宿禰尊 御父仁德天皇 第四子 御母磐之媛命

降誕 壬寅年 紀元千九百零二年

即位 壬子年 紀元千九百零二年 十二月 年七十一歲 (群臣迎立)

奠都 都大和國飛鳥是謂遠飛鳥宮 今奈良縣下大和國 高市郡飛鳥村ノ内

崩御 癸巳年 紀元千九百零三年 正月十四日 陽曆二月九日 戊子

在位 四十年二ヶ月 自紀元千九百零二年十二月 至紀元千九百零三年正月

聖壽 百十二歲 自紀元千九百零二年 至紀元千九百零三年

山陵 癸巳年十月十日 己卯 葬河內國志紀郡惠我長野北陵 今大阪府下河內 國志紀郡道明寺 村大字 國府

安康天皇

穴穗尊 御父允恭天皇 第三子 御母忍阪大中姬命

降誕 辛丑年 紀元千九百零一年

即位 癸巳年 紀元千九百零三年 十二月十四日 壬〇年五十三歲 (翌年甲午ヲ)

奠都 癸巳年都大和國石上是謂穴穗宮 今奈良縣下大和國山邊 郡山邊村(元田村ノ地)

崩御 丙申年 紀元千九百零六年 八月九日 陽曆九月二日 眉輪王ノ爲メ 十五日壬辰(ニ試セラレ)

在位 二年九月自紀元千七百十三年十二月至紀元千七百十六年八月

聖壽 五十六歲自紀元千七百一十一年至紀元千七百十六年

山陵 戊戌年十月葬大和國添上郡菅原伏見西陵今奈良縣下大和國添上郡伏見村大字寶來

第二十一

雄略天皇

大泊瀨幼武尊

御父允恭天皇 第五子
御母忍阪大中姬命

降誕 戊午年紀元千七百十八年十二月

即位 丙申年紀元千七百十六年十一月十三日甲〇年三十九歲(五年丁酉)

奠都 同京都大和國泊瀨是謂朝倉宮今奈良縣下大和國城上郡朝倉村(元黑崎村ノ間)ノ地

崩御 己未年紀元千七百三十九年八月七日陽曆九月九日丙子

在位 二十二年十月自紀元千七百十六年十一月至紀元千七百三十九年八月

聖壽 六十二歲自紀元千七百十八年至紀元千七百三十九年

山陵 庚申年十月九日辛丑葬河內國丹比郡高鷲原陵今大阪府下河內國丹比郡高鷲村大字島泉

第二十二

清寧天皇

白髮武廣國押稚日本根子尊

御父雄略天皇 第三子
御母葛城韓媛命

降誕 甲申年紀元千七百四年

立太子 戊午年正月朔己〇年三十五歲

即位 庚申年紀元千七百四年正月十五日壬〇年三十七歲

奠都 都大和國磐余是謂養栗宮今奈良縣下大和國十市郡安倍村ノ内元池ノ内村即古御厨子村ノ地

崩御 甲子年紀元千七百四十四年正月十六日陽曆二月二十八日己丑

在位 四年一ヶ月自紀元千七百四十四年正月至紀元千七百四十四年正月

聖壽 四十一歲自紀元千七百四年至紀元千七百四十四年

山陵 甲子年十一月九日戊寅葬河內國古市郡阪門原陵今大阪府下河內國古市郡西浦村大字西浦

第二十三

角刺天皇

忍海飯豐青尊

御父磐阪市邊押磐尊(履中天) 第二女
御母黃媛命(押磐)

降誕 庚辰年紀元千七百

即位 甲子年紀元千四百四十四年二月即位大和國葛城角刺宮

崩御 同年十一月陽曆十月

在位 十ヶ月自紀元千四百四十四年二月至同年十一月

聖壽 四十五歲自紀元千四百四十四年至紀元千四百四十四年

山陵 葬大和國葛下郡殖口丘陵今奈良縣下大和國葛下郡新庄村大字北花内

追諡 明治三年追諡角刺天皇

第二十四 顯宗天皇

諱 袁祁石巢別尊

御父磐阪市邊押磐尊 第二子
御母莢媛命

降誕 庚寅年紀元千四百十年

立皇子 壬戌年四月七日辛卯自播磨國還為皇子年三十三歲

即位 乙丑年紀元千四百十五年正月朔己卯年三十六歲

奠都 都大和國近飛鳥是謂八釣宮今奈良縣下大和國高市郡飛鳥村元八釣村ノ地

崩御 丁卯年紀元千四百十七年四月廿五日陽曆六月三日庚辰

在位 二年四月自紀元千四百四十五年正月至紀元千四百四十七年四月

聖壽 三十八歲自紀元千四百十年至紀元千四百四十七年

山陵 戊辰年十月三日己酉葬大和國葛下郡傍丘磐坏丘南陵今奈良縣下大和國葛下郡下田村大字北市

第二十五 仁賢天皇

諱 意富祁尊

御父磐阪市邊押磐尊 第一子
御母莢媛命

降誕 己丑年紀元千四百九年

立太子 壬戌年四月七日辛卯年三十四歲

即位 戊辰年紀元千四百十八年正月五日乙酉年四十歲

奠都 都大和國石上是謂廣高宮今奈良縣下大和國山邊郡ノ内

崩御 戊寅年紀元千四百十八年八月八日陽曆九月十日丁巳

在位 十年八月自紀元千四百四十八年正月至紀元千四百五十八年八月

聖壽 五十歲自紀元千四百九年至紀元千四百五十八年

山陵 戊寅年十月五日癸丑葬河內國丹比郡殖生坂本陵今大阪府下河內國丹南郡長野村大字野中

第二十六 武烈天皇

小泊瀨稚鷯尊ナハツセヒコカササキ

御父仁賢天皇 第一子
御母春日大娘皇女

降誕 己巳年紀元千四百九十九年

立太子 甲戌年正月三日己巳年六月

即位 戊寅年紀元千五百一十八年十二月年十歲(聖年己卯)

奠都 同年都天和國泊瀨是謂列城宮今奈良縣下大和國城上郡初瀨村(元出雲村)内

崩御 丙戌年紀元千六百六十六年十二月八日陽曆聖年一月九日己亥

在位 八年一ヶ月自紀元千五百五十八年十二月至紀元千六百六十六年十二月

聖壽 十八歲自紀元千六百四十九年至紀元千六百六十六年

山陵 戊子年十月三日癸丑葬天和國葛下郡傍岡磐坏丘北陵今奈良縣下大和國葛下郡志都美村大字今泉

第二十七 繼體天皇

男大迹尊又彦太尊オホノサトノミコ

御父彦主人王
御母振媛命

降誕 庚寅年紀元千六百十年

即位 丁亥年紀元千六百六十七年二月四日甲午即位河內國樟葉宮○年五十八歲(天運金村等迎立(大阪府下河內國交野郡樟葉村)内)

奠都 辛卯年十月都山城國筒城今京都府下山城國綴喜郡田邊村善賢寺村(元奥月村多々良村)内字御所内宮口等ノ地

遷都 戊戌年三月九日甲子遷都山城國弟國今京都府下山城國乙訓郡乙訓村(元井ノ内村)内

崩御 辛亥年紀元千九百一十一年二月七日陽曆三月十日丁未

在位 二十四年自紀元千九百一十七年二月至紀元千九百一十一年一月

聖壽 八十二歲自紀元千九百一十年至紀元千九百一十一年

山陵 辛亥年十二月五日庚子葬攝津國島上郡三島藍野陵今大阪府下攝津國島上郡三島村大字太田

安閑天皇

第二十八

御父繼體天皇 第二子
御母皇妃日子媛命

降誕 丙午年 紀元千二百六十六年

立太子 癸巳年十二月八日 戊〇年四十八歲

即位 辛亥年 紀元千二百九十二年 二月七日 丁〇年六十六歲 (甲寅年ヲ元)

奠都 甲寅年正月都大和國勾今奈良縣下大和國高市郡金橋村元曲川村ノ内是謂金橋宮

崩御 乙卯年 紀元千二百九十五年 十二月十七日 陽曆元年一月二十七日己丑

在位 四年十ヶ月 自紀元千九百九十五年十一月至紀元千九百九十九年十一月

聖壽 七十歲 自紀元千九百九十五年

山陵 乙卯年葬河內國古市郡高屋丘陵今大阪府下河內國古市郡古市村大字古市

第二十九

宣化天皇

御父繼體天皇 第三子
御母皇妃日子媛命

降誕 丁未年 紀元千二百七十七年

欽明天皇

第三十

御父繼體天皇 第四子
御母手白香皇女

降誕 己丑年 紀元千二百六十九年

即位 己未年 紀元千二百九十九年 十二月五日 甲〇年三十一歲 (庚申年ヲ元)

奠都 庚申年七月十四日 己都大和國磯城島是謂金刺宮今奈良縣下大和國城上郡三輪村

即位 乙卯年 紀元千九百九十五年 十二月(詳臣勳達年ト爲ス)

奠都 丙辰年正月都大和國檜前是謂廬入野宮今奈良縣下大和國高市郡ノ内

崩御 己未年 紀元千九百九十九年 二月十日 陽曆三月十七日甲午

在位 三年三ヶ月 自紀元千九百九十九年二月至紀元千九百九十九年五月

聖壽 七十三歲 自紀元千九百九十九年

山陵 己未年十一月十七日 葬大和國高市郡身狹桃花鳥坂上陵今奈良縣下大和國高市郡白檜村大字鳥屋

第三十一
敏達天皇

譯語田渟中倉太珠敷尊

御父欽明天皇 第二子
御母石姬皇女

崩御 辛卯年 紀元千二百三十一
四月十五日 陽曆五月二十六日壬辰

在位 三十一年五ヶ月 自紀元千九百九十九年十二月
至紀元千二百三十一年四月

聖壽 六十三歲 自紀元千二百三十九年
至紀元千二百三十一年

山陵 辛卯年九月葬大和國高市郡檜隈阪合陵 今奈良縣下大和國高市郡阪合村大字平田

降誕 戊午年 紀元千九百九十八

立太子 甲戌年正月七日 甲〇年十七歲

即位 壬辰年 紀元千二百三十二 四月三日 陽曆五月〇年三十五歲
二日甲戌

奠都 乙未年六月都大和國磐余譯語田是謂幸玉宮 今奈良縣下大和國城上郡磯向村太田村ノ地

崩御 乙巳年 紀元千二百四十五 八月十五日 陽曆九月十六日己亥

在位 十三年五ヶ月 自紀元千二百三十二年四月
至紀元千二百四十五年八月

聖壽 四十八歲 自紀元千九百九十八年
至紀元千二百四十五年

山陵 辛亥年四月十三日 葬河內國石川郡磯長中尾陵 今大阪府下河內國石川郡磯長村大字大字

第三十二
用明天皇

橘豐日尊

御父欽明天皇 第四子
御母皇太夫人堅鹽媛命

降誕 庚申年 紀元千二百

即位 乙巳年 紀元千二百四十五 九月五日 陽曆五月〇年四十六歲
(丙午年ヲ元)

奠都 丙午年都大和國磐余是謂池邊雙槻宮 今奈良縣下大和國十市郡阿部村元阿部村ノ内

崩御 丁未年 紀元千二百四十七 四月九日 陽曆五月二十三日癸丑

在位 一年八ヶ月 自紀元千二百四十五年九月
至紀元千二百四十七年四月

聖壽 四十八歲 自紀元千二百四十七年
至紀元千二百四十七年

山陵 癸丑年九月葬河內國石川郡河內磯長原陵 今大阪府下河內國石川郡磯長村大字春日

第三十三
崇峻天皇

泊瀨部稚鷦鷯尊

御父欽明天皇 第十二子
御母蘇我小姊君

降誕 癸亥年 紀元千二百三

即位 丁未年 紀元千二百四十七年 八月二日 甲〇年四十五歲 辰秋屋姬皇后群臣卜願シ迎立(戊申年ヲ元)

奠都 同年同月都大和國倉梯是謂柴垣宮 今奈良縣下大和國十市郡多武峯村元倉梯村金福寺ノ地

崩御 壬子年 紀元千二百五十二年 十一月三日 陽曆十二月十四日乙巳(馬子ヲ爲ニ)

在位 五年四ヶ月 自紀元千二百四十七年八月至紀元千二百五十二年十一月

聖壽 五十歲 自紀元千二百五十二年至紀元千二百五十二年

山陵 壬子年十一月三日 乙葬大和國十市郡倉梯岡陵 今奈良縣下大和國十市郡多武峯村大字倉梯

第三十四 推古天皇

豐御食炊屋姬尊 初稱 額田部皇女 御父欽明天皇 第三女 又稱 小治田天皇 御母堅鹽媛命

降誕 甲戌年 紀元千二百十四年

立皇后 丙申年三月十日 戊

即位 壬子年 紀元千二百五十二年 十二月八日 己〇年三十九歲 (癸丑年ヲ元) 卯馬子群臣卜勸進(年ト爲ス)

奠都 癸亥年十月四日 壬申 都大和國小墾田是謂小墾田宮 今奈良縣下大和國高市郡飛鳥村ノ邊

崩御 戊子年 紀元千二百八十八年 三月七日 陽曆四月十八日 癸丑

在位 三十五年四ヶ月 自紀元千二百五十二年十二月至紀元千二百八十八年三月

聖壽 七十五歲 自紀元千二百八十四年至紀元千二百八十八年

山陵 葬河內國石川郡磯長山田陵 今大阪府下河內國石川郡山田村大字山田

第三十五 舒明天皇

息長足日廣額尊 稱高市岡本天皇 御父押阪彥人大兄皇子(敏達帝) 御母糖手姬皇女(大兄皇) 子妃

降誕 癸丑年 紀元千二百五十二年

即位 己丑年 紀元千二百八十九年 正月四日 丙〇年三十七歲 午(免帝遺詔ト稱ス)

奠都 庚寅年十月十二日 癸卯 都大和國飛鳥岡傍是謂岡本宮 今奈良縣下大和國高市郡高市村元岡村ノ地

崩御 辛丑年 紀元千三百一年 十月九日 陽曆十一月二十日 丁酉

在位 十二年十ヶ月 自紀元千二百八十九年正月至紀元千三百一年十月

聖壽 四十九歲 自紀元千二百五十三年至紀元千三百一年

山陵 癸卯年九月六日壬午葬大和國城上郡押坂內陵今奈良縣下大和國城上郡城島村大字忍阪

第三十六

皇極天皇

天豐財重日足姬尊

初稱寶皇女 御父茅渟王皇子ノ大兄
又稱飛鳥天皇 御母吉備女王

降誕 甲寅年紀元千二百五十四年

立皇后 庚寅年正月十二日寅

即位 壬寅年紀元千三百二年正月十五日辛卯年四十九歲

奠都 癸卯年四月廿八日丁未都大和國飛鳥是謂板蓋宮今奈良縣下大和國高市郡高市村飛鳥村ノ間

讓位 乙巳年紀元千三百五年六月十四日庚戌

在位 三年五ヶ月自紀元千三百二年正月至紀元千三百五年五月

重祚 齊明天皇卜諡ス

第三十七

孝德天皇

天萬豐日尊

初稱輕皇子 御父茅渟王皇子ノ大兄
御母吉備女王

降誕 丙辰年紀元千二百五十六年

即位 乙巳年紀元千三百五年六月十四日庚戌受禪即位 年五十歲

建元 同年同月十九日乙卯始建元號大化一

奠都 大化元年乙巳十二月九日癸卯都攝津國難波是謂長柄豐崎宮今大阪府下攝津郡四成郡豐崎村元本莊村ノ地

改元 白雉大化六年庚戌二月十五日甲申

崩御 白雉五年甲寅紀元千三百十四年十月十日陽曆十一月十七日壬子

在位 九年五ヶ月自紀元千三百五年六月至紀元千三百十四年十月

聖壽 五十九歲自紀元千二百五十六年至紀元千三百十四年

山陵 白雉五年甲寅十二月八日己酉葬河內國石川郡大阪磯長陵今大阪府下河內國石川郡山田村大字山田

石川郡山田村大字山田

齊明天皇

皇極天皇重祚

即位 乙卯年紀元千三百十五年正月三日甲戌即位大和國飛鳥板蓋宮 年六十二歲

奠都 丙辰年都大和國飛鳥是謂後岡本宮今奈良縣下大和國高市郡高市村元岡村ノ地

西征 辛酉年正月六日壬寅西征次筑前國磐瀨行宮尋徙御朝倉行宮

崩御 同年紀元千三百二十一年七月廿四日陽曆八月廿七日丁巳崩筑前國朝倉行宮

在位 六年七ヶ月自紀元千三百二十一年正月至紀元千三百二十一年七月

聖壽 六十八歲自紀元千二百五十四年至紀元千三百二十一年

山陵 丁卯年二月廿七日戊午葬大和國高市郡小市岡上陵今奈良縣下大和國高市郡越智岡村大字

第三十九

天智天皇

降 天命開別尊初稱葛城皇子

御父舒明天皇 第二子
御母皇極天皇女寶皇

降誕 丙戌年紀元千二百八十六年

立太子 乙巳年六月十四日庚〇年二十歲

稱制 辛酉年七月廿四日丁巳臨朝稱制壬戌年ヲ稱制元年ト爲ス

奠都 丁卯年三月十九日己卯都近江國滋賀是謂大津宮今滋賀縣下近江國滋賀郡滋賀ノ里

即位 戊辰年紀元千三百二十八年正月三日戊〇年四十三歲

崩御 辛未年紀元千三百三十一年十二月三日陽曆翌年一月十日乙丑

稱制 六年六ヶ月

在位 三年十一ヶ月自紀元千三百二十八年正月至紀元千三百三十一年十一月

聖壽 四十六歲自紀元千二百八十六年至紀元千三百三十一年

山陵 葬山城國宇治郡山科陵今京都府下山城國宇治郡山科村大字御陵

第四十

弘文天皇

降 大友尊初稱伊賀皇子

御父天智天皇 第一子
御母宮人伊賀宅子娘

降誕 大化四年戊申紀元千三百八十八年

立太子 辛未年十月

即位 同年紀元千三百九十一年十二月五日丁〇年二十四歲(壬申年ヲ元)

崩御 壬申年紀元千三百九十二年七月廿三日陽曆八月廿四日壬子崩近江國山前今滋賀縣下近江國山前ノ里

在位 八ヶ月自紀元千三百九十一年十二月至紀元千三百九十二年七月

聖壽 二十五歲 自紀元千三百八十八年
至紀元千三百三十二年

山陵 葬近江國滋賀郡別所村陵 今滋賀縣下近江國滋
賀郡大津町字別所

追諡 明治三年七月追諡弘文天皇

第四十一

天武天皇

天淳中原瀨真人尊

初稱大海人皇子 御父舒明天皇 第三子
又淨凡原天皇 御母皇極天皇

立太弟 戊辰年二月二十三日 戊○年三十八歲

即位 癸酉年 紀元千三百三十三 二月二十七日 癸未 即位大和國飛鳥淨御原宮 年四十

建元 丙戌年七月二十日 戊午 建元號朱鳥

崩御 朱鳥元年丙戌 紀元千三百四十六 九月九日 陽曆十月
四日丙午

在位 十三年八月 自紀元千三百三十三 至紀元千三百四十六年九月

山陵 朱鳥三年戊子十一月十一日 乙丑 葬大和國高市郡檜隈大內陵 今奈良
縣下大

和國高市郡白
檜村大字野口

第四十二

持統天皇

高天原廣野姬尊

大倭根子天廣野姬 御父天智天皇 第二女
又稱 廣野廣良皇女 御母妃蘇我遠智娘

降誕 大化元年乙巳 紀元千三
百五十五年

立皇后 癸酉年二月二十七日 癸未

稱制 朱鳥元年丙戌九月九日 丙午 臨朝稱制

即位 同四年庚寅 紀元千三百五十年 正月朔 戊○年四十六歲

奠都 甲午年十二月六日 乙卯 都大和國藤井原 今奈良縣下大和
國高市郡飛鳥村

元小
原村

讓位 丁酉年 紀元千三百五十七 八月朔 甲子

崩御 大寶二年壬寅 紀元千三百六十二年 十二月廿二日 陽曆翌年一月
十七日甲寅

稱制 三年三月

在位 七年七月 自紀元千三百五十年正月
至紀元千三百五十七年七月

聖壽 五十八歲 自紀元千三百五十五年
至紀元千三百六十二年

山陵 同三年癸卯十二月廿六日壬午葬大和國高市郡檜隈大内陵今奈良縣下大和國

高市郡白檀村大字野口

武文天皇

天眞宗豐祖父尊又天津足根大父尊 御父岡宮天皇(天武皇帝子)第二子 御母天津御代豐國成姬尊

降誕 癸未年紀元千三百四十二年

立太子 丁酉年二月十六日壬午年十五歲

即位 同年紀元千三百五十七年八月甲子朔受禪即位

建元 辛丑年三月廿一日甲午建元號大寶一

改元 慶雲大寶四年甲辰五月十日甲午

崩御 慶雲四年丁未紀元千三百六十七年六月十五日陽曆七月十二日辛巳

在位 九年十一月自紀元千三百五十七年八月至紀元千三百六十七年六月

聖壽 二十五歲自紀元千三百四十七年至紀元千三百六十七年

山陵 同年十一月廿日甲寅葬大和國高市郡檜隈安古岡上陵今奈良縣下大和國高市郡高

元明天皇

日本根子天津御代豐國成姬尊又阿閉 御父天智天皇第四女 御母媛蘇我姪娘

市村大字栗原

降誕 辛酉年紀元千三百二十一年

攝位 慶雲四年丁未六月二十四日庚寅攝萬機

即位 同年紀元千三百六十七年七月十七日壬午年四十七歲

改元 和銅慶雲五年戊申正月十一日乙巳

奠都 和銅三年庚戌三月十日辛酉都大和國寧樂是謂平城宮今奈良縣下大和國高市郡奈

其町ノ内

讓位 同八年乙卯紀元千三百七十五年九月二日庚辰

崩御 養老五年辛酉紀元千三百八十一年十二月七日陽曆翌年一月二日己卯

在位 八年二月自紀元千三百六十七年七月至紀元千三百七十五年八月

聖壽 六十一歲自紀元千三百二十一年至紀元千三百八十一年

山陵 同年十二月十三日 乙亥 葬大和國添上郡奈保山東陵 今奈保縣下大和國添上郡奈保町

大字奈 夏阪村

元正天皇

日本根子高瑞淨足姬尊 又稱 冰高 御父岡宮天皇(天武帝)第一女 新家皇女 御母天津御代豐國成姬尊

降誕 庚辰年 紀元千三百四十年

即位 和銅八年乙卯 紀元千三百七十五年 九月二日 庚辰 受禪即位 年三十六歲

改元 靈龜 和銅八年乙卯 九月二日 庚辰 養老 靈龜三年丁巳 十月十七日 癸丑

讓位 養老八年甲子 紀元千三百八十四年 二月四日 午 陽曆五月廿六日 庚申

崩御 天平二十年戊子 紀元千三百八十四年 四月二十一日 陽曆五月廿六日 庚申

在位 八年五ヶ月 自紀元千三百七十五年九月 至紀元千三百八十四年一月

聖壽 六十九歲 自紀元千三百四十年 至紀元千四百八年

山陵 天平勝寶二年庚寅十月十八日 癸亥 葬大和國添上郡奈保山西陵 今奈保縣

下大和國添上郡奈 夏町大字奈夏阪村

聖武天皇

天璽國押開豐櫻彥尊 又稱 神武 御父文武天皇 神寶感神聖武皇帝 御母藤原宮子娘

降誕 辛丑年 紀元千三百六十一年

立太子 和銅七年甲寅六月 年十四歲

即位 養老八年甲子 紀元千三百八十四年 二月四日 午 受禪即位 年二十四歲

改元 神龜 養老八年甲子 十月廿三日 己卯 天平 神龜六年己巳 八月五日 癸亥 天平感寶 天平二十一年己丑 四月十四日 丁未

讓位 天平感寶元年己丑 紀元千三百九十年 七月二日 午 陽曆六月廿七日 乙卯

崩御 天平勝寶八年丙申 紀元千三百九十六年 五月二日 陽曆六月廿七日 乙卯

在位 二十五年五ヶ月 自紀元千三百八十四年二月 至紀元千四百九年六月

聖壽 五十六歲 自紀元千三百六十二年 至紀元千四百十六年

山陵 同年五月十九日 壬戌 葬大和國添上郡佐保山南陵 今奈保縣下大和國添上郡佐保村大字法藍

孝謙天皇

天萬豐日尊 又稱 阿閉 高野姬尊 御父聖武天皇 第二女 高野天皇 御母藤原安宿媛

降誕 養老二年戊午 紀元千三百七十八年

立太子 天平十年戊寅正月十三日 壬〇年二十一歲

即位 天平感寶元年己丑 紀元千四百九年 七月二日 甲午 受禪即位 年三十二歲

改元 天平勝寶 天平感寶元年己丑 七月二日甲午 天平寶字 天平勝寶九年丁酉 八月十八日甲午

讓位 天平寶字二年戊戌 紀元千四百十八年 八月朔 庚子

在位 九年一ヶ月 自紀元千四百十九年七月 至紀元千四百十八年七月

重祚 稱德天皇ト諡ス

淳仁天皇

大炊尊

御父崇道盡敬皇帝(天武帝ノ皇子第七子) 御母當麻山背

降誕 天平五年癸酉 紀元千三百九十三年

立太子 天平勝寶九年丁酉四月四日 辛〇年二十五歲

即位 天平寶字二年戊戌 紀元千四百十八年 八月朔 庚子 受禪即位 年二十六歲

遜位 同八年 紀元千四百二十四年 十月九日 壬申 遜位遷淡路國(太皇太后ノ爲ニ廢セ)

崩御 天平神護元年乙巳 紀元千四百二十五年 十月二十三日 陽曆十一月十四日辛巳 崩淡路配所

在位 六年二ヶ月 自紀元千四百十八年八月 至紀元千四百二十四年九月

聖壽 三十三歲 自紀元千三百九十三年 至紀元千四百二十五年

山陵 寶龜三年壬子八月十八日 丙寅 葬淡路國三原郡淡路陵(今兵庫縣下淡路國三原郡加)

追諡 明治三年七月追諡淳仁天皇

稱德天皇

孝謙天皇重祚

踐祚 天平寶字八年甲辰 紀元千四百二十四年 十月九日 壬〇年四十八歲

改元 天平神護 天平寶字九年乙巳 正月七日己亥 神護景雲 天平神護三年丁未 八月十六日癸巳

崩御 神護景雲四年庚戌 紀元千四百三十年 八月四日 陽曆九月一日癸巳

在位 五年十一ヶ月 自紀元千四百二十四年十月 至紀元千四百三十年八月

聖壽 五十三歲 自紀元千三百七十八年 至紀元千四百三十年

第五十
光仁天皇

山陵 同年八月十七日丙午葬大和國添下郡高野陵今奈良縣下大和國添下郡平城村大字山陵

白壁又日本根子天宗高祖尊

御父田原天皇天智天皇子第六子
御母贈皇太后檢媛

降誕 和銅二年己酉紀元千三百六十九年十月十三日乙未

立太子 神護景雲四年庚戌八月四日癸卯年六十二歲

即位 同年紀元千四百三十年十月朔己丑百三十歲參議百川左大臣永手等奉立

改元 寶龜神護景雲四年庚戌十月朔己丑天應寶龜十二年辛酉正月朔辛酉

讓位 天應元年辛酉紀元千四百四十二年四月三日辛卯

崩御 同年紀元千四百四十一年十二月二十三日陽曆元年一月十五日丁未

在位 十年六ヶ月自紀元千四百三十年十月至紀元千四百四十一年三月

聖壽 七十三歲自紀元千三百六十九年至紀元千四百四十一年

山陵 延曆五年丙寅十月二十八日甲申葬大和國添上郡田原東陵今奈良縣下大和國

添上郡田原村大字日笠

第五十一
桓武天皇

日本根子皇統彌照尊

御父光仁天皇第一子
御母贈皇太后高野新笠

降誕 天平九年丁丑紀元千三百九十七年

立太子 寶龜四年癸丑正月二日戊寅年三十七歲

即位 天應元年辛酉紀元千四百四十二年四月三日辛卯受禪即位年四十五歲

改元 延曆天應二年壬戌八月十九日己巳

遷都 延曆三年甲子十一月十一日戊申遷都山城國乙訓是謂長岡宮今京都市府下山

山城國乙訓郡大原野神社ノ邊

同十三年甲戌十月廿二日辛酉遷都山城國葛野是謂平安宮今京都市是ナリ

崩御 同廿五年丙戌紀元千四百六十六年三月十七日陽曆四月十三日辛巳

在位 二十四年十一月自紀元千四百四十一年四月至紀元千四百六十六年二月

聖壽 七十歲自紀元千三百九十七年至紀元千四百六十六年

山陵 同年四月七日庚子葬山城國紀伊郡柏原陵今京都市府下山城國紀伊郡堀内村大字堀内

第五十二
平城天皇

日本根子天推國高彥尊 又安殿 御父桓武天皇 第一子
又稱推國天皇 御母贈皇太后藤原乙牟漏

降誕 寶龜五年甲寅 紀元千四百三十四年 八月十五日 壬午

立太子 延曆四年乙丑十一月二十五日 丁〇年十二歲 巳

踐祚 同廿五年丙戌 紀元千四百六十六年 三月十七日 辛〇年三十三歲 巳

即位 同年五月十八日 巳 辛

改元 大同 延曆二十五年丙戌 五月十八日 辛巳

讓位 大同四年己丑 紀元千四百六十九年 四月三日 戊寅

崩御 天長元年甲辰 紀元千四百八十四年 七月七日 陽曆八月九日 甲寅

在位 三年一ヶ月 自紀元千四百六十六年三月 至紀元千四百六十九年三月

聖壽 五十一歲 自紀元千四百三十四年 至紀元千四百八十四年

山陵 同年七月十二日 己未 葬大和國添上郡楊梅陵 今奈良縣下大和國添上郡郡跡村大字佐紀

第五十三
嵯峨天皇

神野尊 御父桓武天皇 第二子 御母贈皇太后藤原乙牟漏

降誕 延曆五年丙寅 紀元千五百四十六年 九月七日 癸巳

立太子 大同元年丙戌五月十九日 壬〇年二十一歲 午

受禪 同四年己丑 紀元千五百六十九年 四月三日 戊〇年二十四歲 寅

即位 同月十三日 子 戊

改元 弘仁 大同五年庚寅 九月十九日 丙辰

讓位 弘仁十四年癸卯 紀元千五百八十三年 四月十六日 庚子

崩御 承和九年壬戌 紀元千五百九十二年 七月十五日 陽曆八月二十八日 丁未

在位 十四年 自紀元千四百六十九年四月 至紀元千四百八十三年三月

聖壽 五十七歲 自紀元千四百四十六年 至紀元千五百二年

山陵 同年七月十六日 戊申 葬山城國葛野郡嵯峨山上陵 今京都府下山城國葛野郡嵯峨村大字上嵯峨

淳和天皇

第五十四

日本根子天高讓彌遠尊

又名大伴 御父桓武天皇 第三子
又稱西院帝 御母贈皇太后藤原旅子

降誕 延曆五年丙寅 紀元千四百四十六年

立太子 弘仁元年庚寅九月十三日 庚〇年二十五歲

受禪 同十四年癸卯 紀元千四百八十三年 四月十六日 庚〇年三十八歲

即位 同月廿七日 亥 辛

改元 天長 弘仁十五年甲辰 五月五日乙卯

讓位 天長十年癸丑 紀元千四百九十三年 二月二十八日 乙酉

崩御 承和七年庚申 紀元千五百零五年 五月八日 陽曆六月十五日 癸未

在位 九年十ヶ月 自紀元千四百八十三年四月 至紀元千四百九十三年一月

聖壽 五十五歲 自紀元千四百四十六年 至紀元千五百零一年

山陵 同年五月十三日 戊子 葬山城國乙訓郡大原野西嶺陵 今京都府下山城國乙訓郡大原野

村大字 大原野

仁明天皇

第五十五

日本根子天璽豐聰慧尊

又名正良 御父嵯峨天皇 第二子
又稱深草天皇 御母太皇太后橘嘉智子

降誕 弘仁元年庚寅 紀元千四百七十七年

立太子 同十四年癸卯四月十八日 壬〇年十四歲

受禪 天長十年癸丑 紀元千四百九十三年 二月廿八日 乙〇年二十四歲

即位 同年三月六日 巳 癸

改元 承和 天長十一年甲寅 正月三日甲寅 嘉祥 承和十五年戊辰 六月十三日庚子

崩御 嘉祥三年庚午 紀元千五百零五年 三月廿一日 陽曆五月十日 己亥

在位 十七年一ヶ月 自紀元千四百九十三年二月 至紀元千五百十年二月

聖壽 四十一歲 自紀元千四百七十年 至紀元千五百十年

山陵 同年三月廿五日 癸卯 葬山城國紀伊郡深草陵 今京都府下山城國紀伊郡深草村大字深草字伊達町

文德天皇

第五十六

道康 又稱田邑天皇 御父仁明天皇 第一子
御母皇太后藤原順子

降誕 天長四年丁未 紀元千四百八十七年

立太子 承和元年壬戌八月四日 乙〇年十六歲

踐祚 嘉祥三年庚午 紀元千五百十年 三月廿一日 己〇年二十四歲

即位 同年四月十七日 甲子

改元 仁壽 嘉祥四年辛未四月二十八日庚午 齊衡 仁壽四年甲戌十一月三十日辛亥 天安 齊衡四年丁丑二月二十一日己丑

崩御 天安二年戊寅 紀元千五百十八年 八月廿七日 陽曆十月十一日乙卯

在位 八年五ヶ月 自紀元千五百十年三月至紀元千五百十八年七月

聖壽 三十二歲 自紀元千四百八十七年至紀元千五百十八年

山陵 同年九月六日 甲子 葬山城國葛野郡田邑陵 今京都府下山城國葛野郡太秦村大字中野字茶白山

第五十七 清和天皇

惟仁 又稱水尾天皇 御父文德天皇 第四子 御母皇太后藤原明子

降誕 嘉祥三年庚午 紀元千五百十年 三月廿五日 癸卯

立太子 同年十一月廿五日 戊〇年一歲

踐祚 天安二年戊寅 紀元千五百十八年 八月廿七日 乙〇年九歲

即位 同年十一月七日 甲子

改元 貞觀 天安三年己卯四月十五日庚子

讓位 貞觀十八年丙申 紀元千五百三十六年 十一月廿九日 壬寅

崩御 元慶四年庚子 紀元千五百四十年 十二月四日 陽曆翌年一月十一日癸未

在位 十八年三月 自紀元千五百十八年八月至紀元千五百三十六年十月

聖壽 三十一歲 自紀元千五百十年至紀元千五百四十年

山陵 同年十二月七日 丙戌 葬山城國愛宕郡水尾山陵 今京都府下山城國葛野郡嵯峨村大字水尾

第五十八 陽成天皇

貞明 又稱二條院 御父清和天皇 第一子 御母皇太后藤原高子

降誕 貞觀十年戊子 紀元千五百二十八年 十二月十六日 乙亥

立太子 同十一年己丑二月朔 己〇年二歲

受禪 同十八年丙申 紀元千五百三十六年 十一月廿九日 壬〇年九歲

即位 同十九年丁酉紀元千五百三十七年 正月三日 亥

改元 元慶貞觀十九年丁酉 四月十六日 丁亥

遜位 元慶八年甲辰紀元千五百四十四年 二月四日乙基經ノ慶 未スル所

崩御 天曆三年己酉紀元千五百九十九年 九月廿九日陽曆十月廿八日 己巳

在位 七年三月自紀元千五百三十六年十一月 至紀元千五百四十四年一月

聖壽 八十二歲自紀元千五百二十八年至紀元千六百九年

山陵 同年十月三日壬申 葬山城國愛宕郡神樂岡東陵今京都府京都市上京區淨土寺町

第五十九 光孝天皇

諱 時康 又稱小松天皇 御父仁明天皇 第三子 御母贈皇太后藤原澤子

降誕 天長七年庚戌紀元千四百九十年

踐祚 元慶八年甲辰紀元千五百四十四年 二月五日丙〇年五十五歲 申(基經等勳進)

即位 同年二月廿三日甲寅

改元 仁和元慶九年乙巳二月二十一日 丁未

崩御 仁和三年丁未紀元千五百四十七年 八月廿六日陽曆九月廿一日 丁卯

在位 三年六月自紀元千五百四十四年二月 至紀元千五百四十七年七月

聖壽 五十八歲自紀元千四百九十年 至紀元千五百四十七年

山陵 同年九月二日壬申 葬山城國葛野郡後田邑陵今京都府下山城國葛野郡花園村大字宇多野

第六十 宇多天皇

諱 定省 又稱 亨子院帝 御父光孝天皇 第七子 寬平法皇 御母皇太后班子女王

降誕 貞觀九年丁亥紀元千五百二十七年 五月五日 癸卯

立太子 仁和三年丁未八月廿六日丁〇年二十一歲 卯

踐祚 同年紀元千五百四十七年 八月廿六日 卯

即位 同年十一月十七日 丙戌

改元 寬平仁和五年己酉四月二十七日 戊子

讓位 寬平九年丁巳紀元千五百五十七年 七月三日 丙子

崩御 承平元年辛卯紀元千五百九十一年 七月十九日陽曆九月八日 甲辰

在位 九年十一月 自紀元千五百四十七年八月

聖壽 六十五歲 自紀元千五百二十七年

山陵 同年九月五日 葬山城國葛野郡大內山陵 今京都府下山城國葛野郡花園村大字宇多野字大內

醍醐天皇

幼名維城稱小野帝 御父宇多天皇 第一子
又稱延喜天皇 御母贈皇太后藤原胤子

降誕 元慶九年乙巳 紀元千五百四十五年 正月十八日 甲戌

立太子 寬平五年癸丑四月二日 庚〇年九歲 午

受禪 同九年丁巳 紀元千五百五十七年 七月三日 丙〇年十三歲 子

即位 同年同月十三日 戊 丙

改元 昌泰 寬平十年戊午四月 延喜 昌泰四年辛酉七月十五日甲子

讓位 延長八年庚寅 紀元千五百九十年 九月廿二日 壬午

崩御 同年 紀元千五百九十年 九月廿九日 陽曆十月廿八日己丑

在位 三十三年二月 自紀元千五百五十七年七月 至紀元千五百九十年八月

延長 延喜二十三年癸未 閏四月十一日乙酉

聖壽 四十六歲 自紀元千五百四十五年 至紀元千五百九十年

山陵 同年十月十一日 葬山城國宇治郡後山科陵 今京都府下山城國宇治郡藤園村大字藤園

朱雀天皇

御父醍醐天皇 第十一子
御母皇太后藤原穩子

降誕 延長元年癸未 紀元千五百八十三年 七月廿四日 寅 丙寅

立太子 同三年乙酉十月廿一日 庚〇年三歲 辰

受禪 同八年庚寅 紀元千五百九十年 九月廿二日 壬〇年八歲 午

即位 同年十一月廿一日 庚辰

改元 美平 延長九年辛卯四月 天慶 承平八年戊戌五月二十二日戊辰

讓位 天慶九年丙午 紀元千五百六十六年 四月二十日 庚辰

崩御 天曆六年壬子 紀元千五百七十二年 八月十五日 陽曆九月十一日戊戌

在位 十五年七月 自紀元千五百九十年九月 至紀元千六百零六年三月

聖壽 三十歲 自紀元千五百八十三年 至紀元千六百零六年

山陵 同年八月廿日 葬山城國宇治郡醍醐陵今京都府下山城國宇治郡醍醐村大字醍醐

第六十三 村上天皇

御父醍醐天皇 第十四子
御母太皇太后藤原穩子

降誕

延長四年丙戌紀元千五百八十六年 六月二日亥丁

立太弟

天慶七年甲辰四月廿二日甲〇年十九歲

受禪

同九年丙午紀元千六百零六年 四月廿日辰庚〇年二十一歲

即位

同年同月廿八日子戊

改元

天曆天慶十年丁未四月二十二日丁丑 天德天曆十一年丁巳十月廿七日庚辰

崩御

康保四年丁卯紀元千六百零七年 五月廿五日陽曆七月十日癸丑

在位

二十一年一ヶ月自紀元千六百零六年四月至紀元千六百零七年四月

聖壽

四十二歲自紀元千五百八十六年至紀元千六百零七年

山陵

同年六月四日辛酉 葬山城國葛野郡村上陵今京都府下山城國葛野郡花園村大字宇多野

第六十四 冷泉天皇

御父村上天皇 第二子
御母贈皇太后藤原安子

降誕

天曆四年庚戌紀元千六百零四年 五月廿四日辛酉

立太子

同年七月廿三日子戊〇年一歲

踐祚

康保四年丁卯紀元千六百零七年 五月廿五日癸〇年十八歲 丑右大臣實賴授立

即位

同年十月十一日寅丙

改元

安和康保五年戊辰八月十五日丙寅

讓位

安和二年己巳紀元千六百零九年 八月十三日子戊

崩御

寬弘八年辛亥紀元千六百一十一年 十月廿四日陽曆十一月廿七日癸亥

在位

二年三ヶ月自紀元千六百零七年五月至紀元千六百零九年七月

聖壽

六十二歲自紀元千六百一十年至紀元千六百一十一年

山陵

同年十一月十六日乙酉 葬山城國愛宕郡櫻本陵今京都府京都市上京區鹿ヶ谷町

第六十五

圓融天皇

守平

御父村上天皇 第五子
御母贈太皇太后藤原安子

降誕 天德三年己未紀元千六百十九年三月二日丁未

立太子 康保四年丁卯九月朔丙戌 丙〇年九歲

受禪 安和二年己巳紀元千六百二十年八月十三日戊子 戊〇年十一歲

即位 同年九月廿三日丁卯

改元 天祿安和三年庚午三月二十五日丙寅 天延天祿四年癸酉二月二十日庚子 貞元天延四年丙子七月十三日戊寅

讓位 天元貞元三年戊寅十一月廿九日庚戌 永觀天元六年癸未四月十五日庚子

崩御 永觀二年甲申紀元千六百四十四年八月廿七日甲辰

在位 正曆二年辛卯紀元千六百一十一年二月十二日陽曆三月六日癸丑

聖壽 十五年自紀元千六百廿九年八月至紀元千六百四十四年七月

山陵 三十三歲自紀元千六百五十九年至紀元千六百六十一年

同年二月十九日庚辛葬山城國葛野郡後村上陵今京都府下山城國葛野郡花園村大字宇多野

第六十六

華山天皇

師貞

御父冷泉天皇 第一子
御母贈皇太后藤原懷子

降誕 安和元年戊辰紀元千六百二十八年十月廿六日丙子

立太子 同二年己巳八月十三日戊子 戊〇年二歲

受禪 永觀二年甲申紀元千六百四十四年八月廿七日甲辰 甲〇年十七歲

即位 同年十月十日丙戌

改元 寬和永觀三年乙酉四月二十七日辛丑

遜位 寬和二年丙戌紀元千六百四十六年六月廿三日庚申 (道兼ノ給リ)

崩御 寬弘五年戊申紀元千六百六十八年二月八日陽曆三月廿三日己亥

在位 一年十ヶ月自紀元千六百四十四年八月至紀元千六百四十六年五月

聖壽 四十一歲自紀元千六百六十八年至紀元千六百六十八年

山陵 同年二月十七日戊申葬山城國葛野郡紙屋上陵今京都府下山城國葛野郡衣笠村大字大北山

一條天皇

懷仁

御父圓融天皇 第一子
御母皇太后藤原詮子

降誕

天元三年庚辰

紀元千六百四十年 六月朔 壬申

立太子

永觀二年甲申八月廿七日

甲〇年五歲

受禪

寬和二年丙戌

紀元千六百四十六年 六月廿三日 庚〇年七歲

即位

同年七月廿二日

戊子

改元

永延 寬和三年丁亥

四月五日丁酉

永祚 永延三年己丑

八月八日丙辰

正曆 永祚二年庚寅

一月七日戊寅

讓位

長德 正曆六年乙未

二月二十二日戊戌

長保 長德五年己亥

正月十三日丁卯

寬弘 長保六年甲辰

崩御

寬弘八年辛亥

紀元千六百七十一年 六月十三日 乙卯

在位

同年 紀元千六百七十一年

六月廿二日 陽曆七月三十一日 甲子

聖壽

三十二歲

自紀元千六百四十年 至紀元千六百七十一年

山陵

寬仁四年庚申六月十六日

丙申 葬山城國葛野郡圓融寺北陵 今京都府下山城國

三條天皇

居貞

御父冷泉天皇 第二子
御母贈皇太后藤原超子

葛野郡花園村大字谷口

降誕

貞元元年丙子

紀元千六百三十六年 正月三日 庚午

立太子

寬和二年丙戌七月十六日

壬〇年十一歲

受禪

寬弘八年辛亥

紀元千六百七十一年 六月十三日 乙卯

即位

同年十月十六日

乙卯

改元

長和 寬弘九年壬子

十二月二十五日戊子

讓位

長和五年丙辰

紀元千六百七十六年

正月廿九日 甲道長ヲ憚リ

戊此ニ至ル

崩御

寬仁元年丁巳

紀元千六百七十七年

五月九日 陽曆六月十一日 丙午

在位

四年七月

自紀元千六百七十一年六月 至紀元千六百七十五年十二月

聖壽

四十二歲

自紀元千六百三十六年 至紀元千六百七十七年

山陵

同年五月十二日

己酉 葬山城國葛野郡北山陵 今京都府下山城國葛野郡安笠村大字大北山

第六十九
後一條天皇

御父一條天皇 第二子
御母太皇太后藤原彰子

降誕 寬弘五年戊申 紀元千六百六十八年 九月十一日 辰

立太子 同八年辛亥六月十三日 卯 乙〇年四歲

受禪 長和五年丙辰 紀元千六百七十六年 正月廿九日 戌 甲〇年九歲

即位 同年二月七日 午 壬

改元 寬仁 長和六年丁巳 卯 紀元千六百七十四年 二月二日 丁未 萬壽 治安四年甲子 七月十三日 戌 戌

讓位 長元 萬壽五年戊辰 庚 紀元千六百八十二年 四月十七日 丑 乙

崩御 同日 陽曆五月廿一日 乙丑

在位 二十年三月 自紀元千六百七十六年正月 至紀元千六百九十六年三月

聖壽 二十九歲 自紀元千六百六十八年 至紀元千六百九十六年

山陵 同年五月十九日 丙 葬山城國愛宕郡菩提院陵 今京都府京都市上京區淨土寺町

第七十
後朱雀天皇

御父一條天皇 第三子
御母太皇太后藤原彰子

降誕 寬弘六年己酉 紀元千六百六十九年 十一月廿五日 子 丙

立太子 寬仁元年丁巳八月九日 戌 甲〇年九歲

受禪 長元九年丙子 紀元千六百九十六年 四月十七日 丑 乙〇年二十八歲

即位 同年七月十日 戌 丙

改元 長曆 長元十年丁丑 卯 紀元千六百九十七年 一月十日 辛酉 長久 長曆四年庚辰 十一月十日 辛酉 寬德 長久五年甲申 十一月二十四日 壬午

讓位 寬德二年乙酉 紀元千七百零五年 正月十六日 酉 癸

崩御 同年 紀元千七百零五年 正月十八日 陽曆二月十三日 乙亥

在位 八年九月 自紀元千六百九十六年四月 至紀元千七百零四年十二月

聖壽 三十七歲 自紀元千六百六十九年 至紀元千七百零五年

山陵 同年二月廿一日 戌 葬山城國葛野郡圓乘寺陵 今京都府下山城國葛野郡花園村大字谷口

第七十一
後冷泉天皇

親仁

御父後朱雀天皇 第一子
御母贈皇太后藤原嬉子

降誕 萬壽二年乙丑紀元千六百八十五年 八月三日壬子

立太子 長曆元年丁丑八月十七日丙〇年十三歲

受禪 寬德二年乙酉紀元千七百五年 正月十六日癸〇年二十一歲

即位 同年四月八日甲午

改元 永承寬德三年丙戌四月十四日甲子 天喜永承八年癸巳正月十一日壬子

治曆廣平八年乙巳八月二日己丑

崩御 治曆四年戊申紀元千七百二十八年 四月十九日陽曆五月廿八日庚申

在位 二十三年三月自紀元千七百五年正月 至紀元千七百廿八年三月

聖壽 四十四歲自紀元千六百八十五年 至紀元千七百二十八年

山陵 同年五月五日丙子 葬山城國葛野郡圓教寺陵今京都府下山城國葛野郡花園村大字谷口

第七十二
後三條天皇

尊仁

御父後朱雀天皇 第二子
御母太皇太后禰子內親王

降誕 長元七年甲戌紀元千六百九十四年 七月十八日乙酉

立太子 寬德二年乙酉正月十六日癸〇年十二歲

踐祚 治曆四年戊申紀元千七百二十八年 四月十九日庚〇年三十五歲

即位 同年七月廿一日辛卯 即位於太政官廳(官廳ニ即位ス此ニ始マレ)

改元 延久治曆五年己酉四月十三日己酉

讓位 延久四年壬子紀元千七百三十二年 十二月八日壬午

崩御 同五年癸丑紀元千七百三十三年 五月七日陽曆六月廿一日庚戌

在位 四年八月自紀元千七百二十八年四月 至紀元千七百三十二年十一月

聖壽 四十歲自紀元千六百九十四年 至紀元千七百三十三年

山陵 葬山城國葛野郡圓宗寺陵今京都府下山城國葛野郡花園村大字谷口

第七十三
白河天皇

貞仁

御父後三條天皇 第一子
御母贈皇太后藤原茂子

降誕 天喜元年癸巳 紀元千七百一十三年 六月十九日 亥

立太子 延久元年己酉四月廿八日 甲〇年十七歲

受禪 同四年壬子 紀元千七百一十二年 十二月八日 壬〇年二十歲

即位 同年同月廿九日 卯

改元 承保 延久六年甲寅八月二十三日 戊子

應德 永保四年甲子 二月七日 丙子

讓位 應德三年丙寅 紀元千七百一十六年 十一月廿六日 庚辰

崩御 大治四年己酉 紀元千七百一十九年 七月七日 陽曆七月三十一日 癸未

在位 十三年十一月 自紀元千七百三十二年十二月至紀元千七百四十六年十月

聖壽 七十七歲 自紀元千七百一十三年至紀元千七百八十九年

山陵 天承元年辛亥七月九日 卯 葬山城國紀伊郡鳥羽成菩提院陵 今京都府下山

第七十四
堀河天皇

善仁

御父白河天皇 第三子
御母贈皇太后藤原賢子

降誕 承曆三年己未 紀元千七百三十九年 七月九日 乙亥

立太子 應德三年丙寅 紀元千七百一十六年 十一月廿六日 辰 〇年八歲

受禪 同日

即位 同年十二月十九日 癸卯

改元 寬治 應德四年丁卯 四月七日 戊子 嘉保 寬治八年甲戌十月十五日 壬午

承德 永長 永長二年丁丑 一月廿一日 辛未 康和 承德三年己卯八月二十八日 戊戌 長治 康和六年甲申二月十日 甲寅

嘉承 長治三年丙戌 四月九日 庚午

崩御 嘉承二年丁亥 紀元千七百六十七年 七月十九日 陽曆八月十六日 癸卯

在位 二十年八月 自紀元千七百四十六年十一月至紀元千七百六十七年六月

聖壽 二十九歲 自紀元千七百三十九年至紀元千七百六十七年

山陵 永久元年癸巳三月廿二日癸巳葬山城國葛野郡後圓教寺陵今京都府下山城國

葛野郡花園村大字谷口

鳥羽天皇

第七十五
崇仁

御父堀河天皇 第一子
御母贈皇太后藤原美子

降誕 康和五年癸未紀元千七百六十二年正月十六日申丙

立太子 同年八月十七日甲子

踐祚 嘉承二年丁亥紀元千七百六十七年七月十九日卯癸〇年五歲

即位 同年十二月朔壬午

改元 天仁嘉承三年戊子八月三日庚辰天永天仁三年庚寅七月十三日庚戌

元永永久六年戊戌四月三日乙卯保安元永三年庚子四月十日庚辰

讓位 保安四年癸卯紀元千七百八十二年正月廿八日壬午

崩御 保安元年丙子紀元千七百八十六年七月二日陽曆七月廿七日辛丑

在位 十五年六月自紀元千七百六十七年七月至紀元千七百八十二年十二月

聖壽 五十四歲自紀元千七百六十三年至紀元千八百十六年

山陵 同日葬山城國紀伊郡鳥羽安樂壽院陵今京都府下山城國紀伊郡竹田村

崇德天皇

第七十六
顯仁

御父鳥羽天皇 第一子
御母中宮藤原璋子

降誕 元永二年己亥紀元千七百七十九年五月廿八日癸酉

立太子 保安四年癸卯正月廿八日壬〇年五歲

受禪 同年紀元千七百八十三年正月廿八日壬午

即位 同年二月十九日癸卯

改元 天治保安五年甲辰四月三日庚戌大治天治三年丙午正月二十二日戊子天承大治六年辛亥正月二十九日丁卯

長承天承二年壬子八月十一日戊戌保延長承四年乙卯四月二十七日庚午永治保延七年辛酉七月十日丙午

讓位 永治元年辛酉紀元千八百一年十二月七日辛未(鳥羽法皇)

遷幸 保元元年丙子七月廿三日壬戌遷幸讚岐國

崩御 長寬二年甲申紀元千八百二十四年八月廿六日陽曆九月廿一日己卯崩讚岐國志度

在位 十八年十一月 自紀元千七百八十三年正月 至紀元千八百一十一年十一月

聖壽 四十六歲 自紀元千七百七十九年 至紀元千八百二十四年

山陵 同年九月十八日 葬讚岐國阿野郡白峰陵 今愛媛縣下讚岐國阿野郡松山村大字青澤

近衛天皇

第七十七

體仁

御父鳥羽天皇 第八子 御母皇后藤原得子

降誕 保延五年己未 紀元千七百九十九年 五月十八日 丁酉

立太弟 永治元年辛酉 紀元千八百一十一年 十二月七日 辛卯 年三歲

受禪 同日

即位 同年同月廿七日 辛卯

改元 康治 永治二年壬戌四月二十八日辛卯 天養 廣治三年甲子二月二十三日甲辰

仁平 久安 久壽 仁平四年甲戌十月二十八日丁未 久壽 仁平四年甲戌十月二十八日丁未

崩御 久壽二年乙亥 紀元千八百一十五年 七月廿三日 陽曆八月廿九日戊辰

在位 十三年七ヶ月 自紀元千八百一十一年十二月 至紀元千八百一十五年六月

聖壽 十七歲 自紀元千七百九十九年 至紀元千八百一十五年

山陵 長寬元年癸未十一月廿八日 乙卯 葬山城國紀伊郡安樂壽院南陵 今京都府

下山城國紀伊郡竹田村

後白河天皇

第七十八

雅仁

御父鳥羽天皇 第四子 御母中宮藤原璋子

降誕 大治二年丁未 紀元千七百八十七年 九月十一日 戊戌

踐祚 久壽二年乙亥 紀元千八百一十五年 七月廿四日 己巳 年二十九歲

即位 同年十月廿六日 庚辰 立(鳥羽法皇) 立(立所)

改元 保元 久壽三年丙子四月二十七日戊戌

讓位 保元三年戊寅 紀元千八百一十八年 八月十一日 戊戌

崩御 建久三年壬子 紀元千八百五十二年 三月十三日 陽曆五月三日乙酉

在位 三年一ヶ月 自紀元千八百一十五年七月 至紀元千八百一十八年七月

聖壽 六十六歲 自紀元千八百一十七年 至紀元千八百五十二年

山陵 同年三月十五日丁亥葬山城國愛宕郡法住寺法華堂陵今京都府京都市下京區三十三間堂前

第七十九
二條天皇

御父後白河天皇 第一子
御母贈皇太后藤原懿子

降誕 康治二年癸亥紀元千八百三年六月十七日壬寅

立太子 久壽二年乙亥九月廿三日丁卯年十三歲

受禪 保元三年戊寅紀元千八百十八年八月十一日戊戌年十六歲

即位 同年十二月廿日丙午

改元 平治保元四年巳卯四月二十日甲辰永曆平治二年庚辰正月十日巳酉

長寬應保三年癸未三月二十九日庚申永萬長寬三年乙酉六月五日壬午

讓位 永萬元年乙酉紀元千八百二十五年六月廿五日壬寅

崩御 同年七月廿八日陽曆九月十二日乙亥

在位 六年十月自紀元千八百十八年八月至紀元千八百二十五年五月

聖壽 二十三歲自紀元千八百二十五年至紀元千八百三十五年

山陵 嘉應二年庚寅五月十七日丙申葬山城國葛野郡香隆寺三昧堂陵今京都府

下山城國葛野郡衣笠村大字大北山

第八十
六條天皇

御父二條天皇 第二子
御母皇后藤原育子

降誕 長寬二年甲申紀元千八百二十四年十一月十四日乙未

受禪 永萬元年乙酉紀元千八百二十五年六月廿五日壬寅年二歲

即位 同年七月廿七日甲戌

改元 仁安永萬二年丙戌八月二十七日戊戌

讓位 仁安三年戊子紀元千八百二十八年二月十九日壬子

崩御 安元二年丙申紀元千八百三十六年七月十七日陽曆八月三十日庚申

在位 二年八月自紀元千八百二十五年六月至紀元千八百二十八年正月

聖壽 十三歲自紀元千八百二十四年至紀元千八百三十六年

山陵 同年七月廿二日乙丑葬山城國愛宕郡清閑寺陵今京都府京都市下京區清閑寺町

高倉天皇

諱 憲仁

御父後白河天皇 第七子
御母皇太后平滋子

降誕 永曆二年辛巳紀元千八百二十一年 九月三日壬申

立太子 仁安元年丙戌十月十日庚辰 〇年六歲

受禪 同三年戊子紀元千八百二十八年 二月十九日壬戌 〇年八歲
于正皇ノ意ニ出之

即位 同年三月二十日壬午

改元 嘉應 仁安四年己丑 四月八日甲午 承安 嘉應三年辛卯四 月二十一日乙丑 安元 承安五年乙未七 月二十八日丁未

治承 安元三年丁酉 八月四日辛未

讓位 治承四年庚子紀元千八百四十年 二月廿一日癸卯 (平氏ノ專横ヲ憂ヒ此ニ至ル)

崩御 養和元年辛丑紀元千八百四十一年 正月十四日陽曆二月六日己酉

在位 十二年自紀元千八百二十八年二月至紀元千八百四十年正月

聖壽 二十一歲自紀元千八百四十一年至紀元千八百四十一年

山陵 同年正月十四日己酉 葬山城國愛宕郡清閑寺法華堂陵今京都府京都市下京區清閑寺町

安徳天皇

諱 言仁

御父高倉天皇 第一子
御母中宮平德子

降誕 治承二年戊戌紀元千八百三十八年 十一月十二日辛未

立太子 同年十二月十五日甲辰 〇年一歲

受禪 同四年庚子紀元千八百四十年 二月廿一日癸卯 〇年三歲

即位 同年四月廿二日甲辰

遷都 同年六月二日癸未 遷都攝津國福原今兵庫縣下攝津國八郡郡兵庫內裏跡ノ地

改元 養和 治承五年辛丑七 月十四日戊子 壽永 養和二年壬寅五 月二十七日丙申

行幸 壽永二年癸卯七月廿五日丁亥 行幸西海

崩御 同四年乙巳紀元千八百四十五年 三月廿四日陽曆五月二日丁未 崩長門國豐浦郡檀浦

在位 五年一ヶ月自紀元千八百四十四年二月至紀元千八百四十五年二月

聖壽 八歲自紀元千八百三十八年至紀元千八百四十五年

山陵 葬長門國豐浦郡赤間陵今山口縣下長門國豐浦郡赤間關市大字阿彌陀寺町

第八十三
後鳥羽天皇

尊成稱隱岐院天皇 御父高倉天皇 第四子 又稱顯德院天皇 御母准三宮藤原殖子

降誕 治承四年庚子紀元千八百四十年七月十四日甲子

立太子 壽永二年癸卯八月二十日壬〇年四歲

踐祚 同年紀元千八百四十三年八月二十日壬(法皇ノ立ッル所)

即位 元曆元年甲辰紀元千八百四十四年七月廿八日甲〇年五歲

改元 元曆壽永三年甲辰四 元曆 月十六日甲戌 文治元曆二年乙巳八 月十四日甲子 建久文治六年庚戌四 月十一日甲午

讓位 建久九年戊午紀元千八百五十八年正月十一日己酉

遷幸 承久三年辛巳七月十三日乙未遷幸隱岐國

崩御 延應元年己亥紀元千八百九十九年二月廿二日陽曆四月四日壬戌崩隱岐國荻田郷

在位 十四年五ヶ月自紀元千八百四十四年八月至紀元千八百五十七年十二月

聖壽 六十歲自紀元千八百四十年至紀元千八百九十九年

山陵 仁治二年辛丑二月八日丙寅葬山城國愛宕郡大原法華堂陵今京都府下山城國

愛宕郡大原村字勝林院

第八十四
土御門天皇

爲仁稱土佐院天皇 御父後鳥羽天皇 第一子 又阿波院天皇 御母准三宮源在子

降誕 建久六年乙卯紀元千八百五十五年十二月二日壬子

立太子 同九年戊午紀元千八百五十八年正月十一日己〇年四歲

受禪 同日

即位 同年三月三日庚子

改元 正治建久十年己未四 月二十七日戊子 建仁正治三年辛酉二 月十三日甲午 元久建仁四年甲子二 月二十日甲寅

讓位 承元四年庚午紀元千八百七十年十一月廿五日己(後鳥羽上皇) 酉(任ス所)

遷幸 承久三年辛巳閏十月十日庚寅遷幸土佐國

貞應二年癸未四月徙阿波國

崩御 寬喜三年辛卯 紀元千八百九十一年 十月十一日 陽曆十一月十三日癸亥 崩阿波國無養村
 在位 十二年十月 自紀元千八百五十八年正月 至紀元千八百七十年十月
 聖壽 三十七歲 自紀元千八百五十六年 至紀元千八百九十六年
 山陵 天福元年癸巳十二月葬山城國乙訓郡西山金原陵 今京都府下山城國乙訓郡海印寺村大

字金
少原

第八十五
順德天皇

守成 又稱佐渡院天皇 御父後鳥羽天皇 第三子
 御母准三宮藤原重子

降誕 建久八年丁巳 紀元千八百五十七年 九月十日 庚
 立太弟 正治二年庚申四月十五日 庚〇年四歲
 受禪 承元四年庚午 紀元千八百七十年 十一月廿五日 己〇年十四歲
 即位 同年十二月廿八日 壬
 改元 建曆 承元五年辛亥 建保 建曆三年癸酉 承久 建保七年己卯
 讓位 承久三年辛巳 紀元千八百一十一年 四月廿日 甲

遷幸 同年七月廿一日 癸 遷幸佐渡國
 崩御 仁治三年壬寅 紀元千八百二十一年 九月十二日 陽曆十月十四日辛卯 崩佐渡國眞野山
 在位 十年五月 自紀元千八百七十年十一月 至紀元千八百八十一年三月
 聖壽 四十六歲 自紀元千八百五十七年 至紀元千九百二年
 山陵 寬元三年癸卯五月十二日 戊 葬山城國愛宕郡大原陵 今京都府下山城國愛宕郡大

原村字
勝林院

第八十六
仲恭天皇

懷成 御父順德天皇 第四子
 又九條廣帝 御母中宮藤原立子

降誕 建保六年戊寅 紀元千八百七十八年 十月十日 戊
 立太子 同年十一月廿六日 甲〇年一歲
 受禪 承久三年辛巳 紀元千八百八十一年 四月二十日 戊
 遜位 同年七月九日 辛 後時ノ爲メ
 崩御 文曆元年甲午 紀元千八百九十四年 五月二十日 陽曆六月二十五日戊午

在位 三ヶ月 自紀元千八百八十一年四月
至紀元千八百八十一年六月
聖壽 十七歲 自紀元千八百七十八年
至紀元千八百九十四年
山陵 同年五月二十三日 西 葬山城國紀伊郡深草陵
追諡 明治三年七月追諡仲恭天皇

第八十七
後堀河天皇

諱 茂仁

御父守貞親王(高倉帝皇子)第三子
追諡後高倉天皇(後高倉)
御母准三宮藤原子(後高倉)

降誕 建曆二年壬申 紀元千八百七十二年 二月十八日 乙未
踐祚 承久三年辛巳 紀元千八百八十一年 七月九日 辛巳 年十歲
即位 同年十二月朔 庚辰
改元 貞應 承久四年壬午 四月 元仁 貞應三年甲申 十一月二十日 壬午 嘉祿 元仁二年乙酉 四月
安貞 嘉祿三年丁亥 十月 寬喜 安貞三年己丑 三月五日 癸酉 貞永 寬喜四年壬辰 四月二日 壬辰
讓位 貞永元年壬辰 紀元千八百九十二年 十月四日 庚辰
崩御 文曆元年甲午 紀元千八百九十四年 八月六日 陽曆九月七日 壬申

在位 十一年三ヶ月 自紀元千八百八十一年七月
至紀元千八百九十二年九月
聖壽 二十三歲 自紀元千八百七十二年
至紀元千八百九十四年
山陵 同年八月十一日 丑 葬山城國愛宕郡觀音寺陵 今京都府京都市下京區今熊野町泉涌寺内

第八十八
四條天皇

諱 秀仁

御父後堀河天皇 第一子
御母中宮藤原璋子

降誕 寬喜三年辛卯 紀元千八百九十一年 二月十二日 己巳
立太子 同年十月廿八日 庚辰
受禪 貞永元年壬辰 紀元千八百九十二年 十月四日 庚辰 〇年二歲
即位 同年十二月五日 庚辰
改元 天福 貞永二年癸巳 四月 文曆 天福二年甲午 十一月五日 庚子 嘉禎 文曆二年乙未 九月十五日 己丑
曆仁 嘉禎四年戊戌 十一月廿三日 甲午 延應 曆仁二年己亥 二月七日 丁未 仁治 延應二年庚子 七月 七月十六日 戊寅
崩御 仁治三年壬寅 紀元千八百九十二年 正月九日 陽曆二月十七日 壬辰
在位 九年三ヶ月 自紀元千八百九十二年十月
至紀元千九百一年十二月

聖壽 十二歲 自紀元千八百九十一年至紀元千九百二年

山陵 同年正月廿五日 成 葬山城國愛宕郡月輪陵 今京都府京都市下京區今熊野町泉涌寺內

後嵯峨天皇

第八十九 邦仁 御父土御門天皇 第七子 御母贈皇太后源通子

降誕 承久二年庚辰 紀元千八百八十年 二月廿六日 丁亥

踐祚 仁治三年壬寅 紀元千九百二年 正月二十日 癸卯年二十三歲 卯歲時迎立

即位 同年三月十八日 庚子 即位

改元 寬元 仁治四年癸卯二月二十六日癸酉

讓位 寬元四年丙午 紀元千九百六年 正月廿九日 己未

崩御 文永九年壬申 紀元千九百三十二年 二月十七日 陽曆三月廿五日丙午

在位 四年 自紀元千九百二年至紀元千九百五年十二月

聖壽 五十三歲 自紀元千八百八十年至紀元千九百三十二年

山陵 同十年癸酉六月廿一日 辛未 葬山城國葛野郡嵯峨殿法華堂陵 今京都府下京區

城國葛野郡嵯峨殿村大字天龍寺

後深草天皇

第九十 久仁 常盤井天皇 御父後嵯峨天皇 第三子 又富小路院天皇 御母中宮藤原結子

降誕 寬元元年癸卯 紀元千九百三年 六月十日 乙卯

立太子 同年八月十日 甲寅

受禪 同四年丙午 紀元千九百六年 正月廿九日 己卯年四歲 未

即位 同年三月十一日 庚子

改元 寶治 寬元五年丁未二月二十八日壬子 建長 寶治三年己酉三月十八日庚寅

正嘉 康元二年丁巳三月十四日庚子 正元 正嘉三年己未三月二十六日庚午

讓位 正元元年己未 紀元千九百九年 十一月廿六日 乙丑

崩御 嘉元二年甲辰 紀元千九百六十四年 七月十六日 陽曆八月廿五日丙寅

在位 十三年十ヶ月 自紀元千九百六十六年正月至紀元千九百七十九年十月

聖壽 六十二歲 自紀元千九百三年至紀元千九百六十四年

山陵 同年七月十七日丁卯葬山城國紀伊郡深草法華堂陵今京都府下山城國紀伊郡深草村大字

深草字坊

第九十一
龜山天皇

諱 恒仁

又稱藤原林守殿

御父後醍醐天皇 第七子
御母中宮藤原結子

降誕 建長元年己酉紀元千九百九年五月廿七日戊戌

立太弟 正嘉二年戊午八月七日癸卯年十歲

受禪 正元元年己未紀元千九百十九年十一月廿六日乙卯年十一歲

即位 同年十二月廿八日丙寅

改元 文應正元二年庚申四月十三日庚戌弘長文應二年辛酉二月二十日壬子

讓位 文永十一年甲戌紀元千九百三十四年正月廿六日甲辰

崩御 嘉元三年乙巳紀元千九百六十五年九月十五日陽曆十月十二日己未

在位 十四年二少月自紀元千九百十九年十一月至紀元千九百三十三年十二月

聖壽 五十七歲自紀元千九百十九年至紀元千九百六十五年

山陵 同年九月十七日辛酉葬山城國葛野郡龜山殿法華堂陵今京都府下山城國葛野郡龜山殿

大字天龍寺

第九十二
後宇多天皇

諱 世仁

又稱大覺寺天皇

御父龜山天皇 第二子
御母皇后藤原倍子

降誕 文永四年丁卯紀元千九百二十七年十二月朔癸丑

立太子 同五年戊辰八月廿五日甲卯年二歲

受禪 同十一年甲戌紀元千九百三十四年正月廿六日甲卯年八歲

即位 同年三月廿六日卯

改元 建治文永十二年乙亥四月二十五日丙寅弘安建治四年戊寅二月二十九日壬午

讓位 弘安十年丁亥紀元千九百四十七年十月廿一日戊寅

崩御 正中元年甲子紀元千九百八十四年六月廿五日陽曆七月廿四日己卯

在位 十三年九少月自紀元千九百三十四年正月至紀元千九百四十七年九月

聖壽 五十八歲自紀元千九百二十七年至紀元千九百八十四年

山陵 同年六月廿八日壬午葬山城國葛野郡蓮華峰寺陵今京都府下山城國葛野郡蓮華村大字上蓮峰

第九十三
伏見天皇

諱 熙仁

又稱持明院天皇

御父後深草天皇 第二子

御母准三宮藤原愔子

降誕 文永二年乙丑紀元千九百二十五年四月廿三日戊戌

立太子 建治元年乙亥十一月五日辛未年十一歲

受禪 弘安十年丁亥紀元千九百四十七年十月廿一日戊戌年二十三歲實北條時宗授立

即位 同十一年戊子紀元千九百四十八年三月十五日庚子年二十四歲

改元 正應弘安十一年戊子四月二十八日壬午永仁正應六年癸巳八月五日戊子

讓位 永仁六年戊戌紀元千九百五十八年七月廿二日丁未

崩御 文保元年丁巳紀元千九百七十七年九月二日陽曆十月十六日丙寅

在位 十年九ヶ月自紀元千九百四十七年十月至紀元千九百五十八年六月

聖壽 五十三歲自紀元千九百七十七年

山陵 文保元年丁巳九月五日戊辰葬山城國紀伊郡深草法華堂陵今京都府下山城國

紀伊郡深草村大字深草字坊

第九十四
後伏見天皇

諱 胤仁

御父伏見天皇 第一子

御母中宮藤原鐙子實藤原經子

降誕 正應元年戊子紀元千九百四十八年三月二日戊子

立太子 同二年己丑四月廿五日甲戌年二歲

受禪 永仁六年戊戌紀元千九百五十八年七月廿二日丁未年十一歲

即位 同年十月十三日丁卯

改元 正安永仁七年己亥四月二十五日乙亥

讓位 正安三年辛丑紀元千九百六十二年正月廿一日壬戌

崩御 延元元年丙子紀元千九百九十六年四月六日陽曆五月廿五日壬午

在位 二年六ヶ月自紀元千九百五十八年七月至紀元千九百六十年十二月

聖壽 四十九歲自紀元千九百四十八年至紀元千九百九十六年

山陵 同年四月八日甲申葬山城國紀伊郡深草法華堂陵今京都府下山城國紀伊郡深草村大字深草字坊

第九十五

後二條天皇

邦治

御父後宇多天皇 第一子
御母准三宮源基子

降誕

弘安八年乙酉 紀元千九百四十五年 二月二日 巳

立太子

永仁六年戊戌八月十日 甲〇年十四歲

受禪

正安三年辛丑 紀元千九百六十一年 正月廿一日 壬〇年十七歲

即位

同年三月廿四日 甲

改元

乾元 正安四年壬寅十 一月廿一日庚戌 嘉元 乾元二年癸卯 八月五日庚寅 德治 嘉元四年丙午十 二月十四日庚戌

崩御

延慶元年戊申 紀元千九百六十八年 八月廿五日 陽曆八月十 八日辛亥

在位

七年七月 自紀元千九百六十八年正月 至紀元千九百六十八年七月

聖壽

二十四歲 自紀元千九百六十八年 至紀元千九百六十八年

山陵

同年八月廿八日 葬山城國愛宕郡北白河陵 今京都府下山城 國愛宕郡白川村

花園天皇

富仁

御父伏見天皇 第四子
御母准三宮藤原季子

降誕

永仁五年丁酉 紀元千九百五十七年 七月廿五日 丙

立太子

正安三年辛丑八月廿四日 庚〇年五歲

踐祚

德治三年戊申 紀元千九百六十八年 八月廿六日 壬〇年十二歲

即位

延慶元年戊申 紀元千九百六十八年 十一月十六日 丑

改元

延慶 德治三年戊申 十月九日甲子 應長 延慶四年辛亥四 月二十八日庚午 正和 應長二年壬子三 月二十日丙辰

讓位

文保二年戊午 紀元千九百七十八年 二月廿六日 戊

崩御

正平三年戊子 紀元二千八百八十八年 十一月十一日 陽曆十二月 十日甲辰 崩於原仙洞

在位

九年六月 自紀元千九百六十八年八月 至紀元千九百七十八年正月

聖壽

五十二歲 自紀元千九百五十七年 至紀元二千八百八十八年

山陵

同年十一月十三日 葬山城國愛宕郡十樂院上陵 今京都府京都市 上京區粟田町

後醍醐天皇

尊治

御父後宇多天皇 第二子
御母准三宮藤原忠子

後醍醐

四十六

降誕 正應元年戊子紀元千九百四十八年十一月二日癸未

立太子 延慶元年戊申九月十九日甲〇年二十一歲
辰(後字多法皇ノ意ニ出之)

受禪 文保二年戊午紀元千九百七十八年二月廿六日戊〇年三十一歲

即位 同年三月廿九日庚寅

改元 元應文保三年己未四元亨元應二年辛酉二正中元亨四年甲子十
月二十八日癸丑 月二十三日丁卯 二月九日辛酉

行幸 嘉曆正中三年丙寅四元德嘉曆四年己巳八元弘元德三年辛未
月二十六日庚子 月二十九日癸丑 八月九日壬子

還幸 元弘元年辛未八月廿四日丁卯行幸山城國笠置山

還幸 同年十月三日乙巳還幸 元弘二年北朝正應元年壬申三月七日丙子遷幸隱岐國

還幸 同三年癸酉六月五日丁卯還幸 建武元弘四年甲戌正延元建武三年丙子二
月二十九日戊午 月二十九日丙午

改元 行幸 同年十二月廿一日己亥行幸大和國吉野今奈良縣下大和國吉野郡吉野村ノ内

讓位 延元四年北朝正應元年己卯紀元千九百九十九年八月十五日辛丑

護位 延元四年北朝正應元年己卯紀元千九百九十九年八月十五日辛丑

第九十八

後村上天皇

諱 義良

初名憲良稱隨興親王 御父後醍醐天皇 第十二子 又稱住吉殿 御母皇太后藤原康子

崩御 同年八月十六日陽曆九月廿七日壬寅崩吉野行宮

在位 二十一年六月自紀元千九百七十八年二月至紀元千九百九十九年七月

聖壽 五十二歲自紀元千九百四十八年至紀元千九百九十九年

山陵 同年十月廿三日戊申葬大和國吉野山塔尾陵今奈良縣下大和國吉野郡吉野村大字吉野山

降誕 嘉曆三年戊辰紀元千九百八十八年

立太子 延元四年北朝正應二年己卯三月年十二歲

受禪 同年紀元千九百九十九年八月十五日辛丑

即位 同年十月五日庚寅即位吉野行宮

改元 興國延元五年(北朝正應三年) 庚辰四月二十八日辛亥正平興國七年(北朝貞和二年) 丙戌十二月八日壬午

崩御 正平廿三年北朝應安元年戊申紀元二千二十八三月十一日陽曆四月六日辛巳崩攝津國住吉行宮

第九十五

後二條天皇

邦治

御父後宇多天皇 第一子
御母准三宮源基子

降誕

弘安八年乙酉

紀元千九百四十五年 二月二日 巳

立太子

永仁六年戊戌八月十日

甲〇年十四歲

受禪

正安三年辛丑

紀元千九百六十一年 正月廿一日 壬〇年十七歲

即位

同年三月廿四日

子

改元

乾元 正安四年壬寅十一月廿一日庚戌

嘉元 乾元二年癸卯八月五日庚寅

德治 嘉元四年丙午二月十四日庚戌

崩御

延慶元年戊申

紀元千九百六十八年 八月廿五日 陽曆八月十八日辛亥

在位

七年七月

自紀元千九百六十八年正月 至紀元千九百六十八年七月

聖壽

二十四歲

自紀元千九百四十五年 至紀元千九百六十八年

山陵

同年八月廿八日

葬山城國愛宕郡北白河陵 今京都府下山城國愛宕郡白川村

花園天皇

富仁

又稱藤原院天皇

御父伏見天皇 第四子
御母准三宮藤原季子

降誕

永仁五年丁酉

紀元千九百五十七年 七月廿五日 丙

立太子

正安三年辛丑八月廿四日

庚〇年五歲

踐祚

德治三年戊申

紀元千九百六十八年 八月廿六日 壬〇年十二歲

即位

延慶元年戊申

紀元千九百六十八年 十一月十六日 辛

改元

延慶 德治三年戊申十月九日甲子

應長 延慶四年辛亥四月二十八日庚午

正和 應長二年壬子三月二十日丙辰

讓位

文保二年戊午

紀元千九百七十八年 二月廿六日 戊

崩御

正平三年戊子

紀元二千八百一十一年十一月十一日 陽曆十二月十日甲辰 崩於原仙洞

在位

九年六月

自紀元千九百六十八年八月 至紀元千九百七十八年正月

聖壽

五十二歲

自紀元千九百五十七年 至紀元二千八百一十一年

山陵

同年十一月十三日

葬山城國愛宕郡十樂院上陵 今京都府京都市上京區粟田町

後醍醐天皇

尊治

又稱吉野院天皇

御父後宇多天皇 第二子
御母准三宮藤原忠子

第九十七

後醍醐

四十六

降誕 正應元年戊子紀元千九百四十八年十一月二日癸未

立太子 延慶元年戊申九月十九日甲〇年二十一歲
長(後宇多法皇ノ意ニ出シ)

受禪 文保二年戊午紀元千九百七十八年二月廿六日戊〇年三十一歲

即位 同年三月廿九日庚寅

改元 元應文保三年己未四元亨元應二年辛酉二正中元亨四年甲子十
月二十八日癸丑 月二十三日丁卯 二月九日辛酉

嘉曆正中三年丙寅四元德嘉曆四年己巳八元弘元德三年辛未
月二十六日庚子 月二十九日癸丑 八月九日壬子

行幸 元弘元年辛未八月廿四日丁卯行幸山城國笠置山

還幸 同年十月三日乙巳還幸

遷幸 元弘二年北朝正應元年壬申三月七日丙子遷幸隱岐國

還幸 同三年癸酉六月五日丁卯還幸

改元 建武元弘四年甲戌正延元建武三年丙子二
月二十九日戊午 月二十九日丙午

行幸 同年十二月廿一日癸巳行幸大和國吉野今奈良縣下大和國吉野郡吉野村ノ内

讓位 延元四年北朝應元元年己卯紀元千九百九十九年八月十五日辛丑

崩御 同年八月十六日陽曆九月廿七日壬寅崩吉野行宮

在位 二十一年六月自紀元千九百七十八年二月至紀元千九百九十九年七月

聖壽 五十二歲自紀元千九百四十八年至紀元千九百九十九年

山陵 同年十月廿三日戊申葬大和國吉野山塔尾陵今奈良縣下大和國吉野郡吉野村大字吉野山

第九十八
後村上天皇

諱 義良
初名憲良 稱隆興親王 御父後醍醐天皇 第十二子 又稱住吉殿 御母皇太后藤原康子

降誕 嘉曆三年戊辰紀元千九百八十八年

立太子 延元四年北朝應元二年己卯三月年十二歲

受禪 同年紀元千九百九十九年八月十五日辛丑

即位 同年十月五日庚寅即位吉野行宮

改元 興國延元五年(北朝應元三年) 庚辰四月二十八日辛亥正平興國七年(北朝貞和二年) 丙戌十二月八日壬午

崩御 正平廿三年北朝應安元年戊申紀元二千二十八三月十一日陽曆四月六日辛巳崩攝津國住吉行宮

在位 廿八年七ヶ月 自紀元千九百九十九年八月至紀元二千二十八年二月
聖壽 四十一歲 自紀元千九百八十八年至紀元二千二十八年
山陵 同年三月十四日 甲 葬河内國錦部郡檜尾陵 今大阪府下河内國錦部郡川上村大字寺町

第九十九
長慶天皇 寬成
御父後村上天皇 第一子
御母未詳或云中宮源顯子

踐祚 正平二十三年 北朝應安元年 戊申 紀元二千二十八年 三月十一日
遜位 同二十四年 北朝應安二年 己酉 紀元二千二十九年 (或ハ文中二年癸丑八月二日) 遜位ニ作ル未々詳ナラズ

第一百
後龜山天皇 熙成
御父後村上天皇 第二子
御母皇太后藤原勝子

立太弟 正平二十三年 北朝應安元年 戊申
嗣位 同二十四年 北朝應安二年 己酉 紀元二千二十九年
改元 建德 正平二十五年(北朝應安三年)庚戌七月二十四日辛亥 文中 建德三年(北朝應安五年)壬子十月四日丁丑 天授 文中四年(北朝應安五年)甲子四月二十
北朝永和元年乙卯 五月二十七日丙戌 弘和 天授七年(北朝永德元年)辛酉二月十日丙寅 元中 弘和四年(北朝至德元年)甲子四月二十

八日 乙未

還幸 元中九年 北朝明應三年 壬申 紀元二千五十二年 閏十月二日 己 南北講和還幸京都

崩御 應永三十一年甲辰 紀元二千八十四年 四月十二日 陽曆五月十九日丁巳

在位 二十三年 自紀元二千二十九年至紀元二千五十二年

山陵 葬山城國葛野郡嵯峨小倉陵 今京都府下山城國葛野郡嵯峨村大字上嵯峨

光嚴天皇 量仁
御父後伏見天皇 第三子
御母准三宮藤原寧子

降誕 正和二年癸丑 紀元千九百七十三年 七月九日 丁酉

立太子 嘉曆元年丙寅七月廿四日 丙〇年十四歲

踐祚 元弘元年辛未 紀元千九百九十二年 九月二十日 癸〇年十六歲 已 北條高時ノ立ツル所

即位 同二年壬申 紀元千九百九十二年 三月廿二日 辛〇年二十歲

改元 正慶 元弘二年壬申四月二十八日丁卯

遜位 正慶二年 南朝元弘三年 癸酉 紀元千九百九十三年 五月廿五日 丁巳

遷幸 文和元年南朝正平七年壬辰三月三日西子遷幸河內國東條一

崩御 貞治三年南朝正平十九年甲辰七月七日陽曆八月十三日己巳崩丹波國山國一

在位 一年八ヶ月自紀元千九百九十一年九月至紀元千九百九十三年四月

聖壽 五十二自紀元千九百七十三年至紀元二千二十四年

山陵 貞治三年南朝正平十九年甲辰七月八日庚午葬丹波國桑田郡山國陵今京都府下丹波國北桑田郡山國村大字丹波

波國北桑田郡山國村大字丹波

光明天皇

北朝第二

豐仁

御父後伏見天皇第九子
御母准三宮藤原事子

降誕 元亨元年辛酉紀元千九百八十一年十二月廿三日壬戌

踐祚 建武三年南朝正平元年丙子八月十五日戊子

即位 同四年南朝正平二年丁丑十二月廿八日甲子

改元 曆應建武五年南朝正平三年戊寅八月二十八日己未 康永曆應五年南朝正平三年壬午四月二十七日戊辰 貞和康永四年南朝正平四年乙酉十月二十一日辛未

興國六年乙酉十月二十一日辛未

讓位 貞和四年南朝正平三年戊子十月廿七日庚寅

遷幸 文和元年南朝正平七年壬辰三月三日丙子遷幸河內國東條一

崩御 康曆二年南朝天授六年庚申六月廿四日陽曆八月三日癸未崩大和國長谷一

在位 十二年二ヶ月自紀元千九百九十六年八月至紀元二千八十八年九月

聖壽 六十自紀元千九百八十一年至紀元二千四十年

山陵 葬山城國紀伊郡伏見大光明寺陵今京都府下山城國紀伊郡堀内村大字堀内

崇光天皇

北朝第三

興仁

御父光嚴天皇第一子
御母准三宮藤原秀子

降誕 建武元年甲戌紀元千九百九十四年四月廿二日己卯

立太子 曆應元年南朝正平三年戊寅八月十三日乙亥

受禪 貞和四年南朝正平三年戊子十月廿七日庚寅

即位 同五年南朝正平四年己丑十二月廿六日壬子

改元 觀應貞和六年南朝正平五年庚寅二月二十七日壬子

遜位 觀應二年南朝正平六年 辛卯紀元二千一十一年 十一月七日癸丑

遷幸 文和元年南朝正平七年 壬辰三月三日丙子 遷幸河內國東條

崩御 應永五年戊寅紀元二千五十八年 正月十三日陽曆二月八日辛酉 崩山城國伏見

在位 三年一ヶ月自紀元二千一十八年十月至紀元二千一十九年十月

聖壽 六十五自紀元千九百九十四年至紀元二千五十八年

山陵 應永五年戊寅正月廿三日辛未 葬山城國紀伊郡伏見大光明寺陵今京都府

下山城國紀伊郡堀內村大字堀內字泰長老

北朝第四

後光嚴天皇

諱 彌仁

御父 光嚴天皇 第二子
御母 准三宮藤原秀子

降誕 曆應元年南朝延元三年 戊寅紀元千九百九十八年 三月二日丁酉

踐祚 觀應三年南朝正平七年 壬辰紀元二千一十二年 八月十七日丁巳 年十五歲

遷幸 文和二年南朝正平八年 癸巳六月十三日己酉 遷幸美濃國小島

即位 同年紀元二千一十三年 十二月廿七日辛巳 年十六歲西尊氏迎立

改元

文和觀應三年(南朝正平七年) 壬辰九月二十七日丁酉

延文文和五年(南朝正平十一年) 丙申三月二十八日己酉

康安延文六年(南朝正平十六年) 辛巳三月二十九日庚辰

讓位 應安四年南朝建德二年 辛亥紀元二千三十一年 三月廿三日丁未

崩御 同七年南朝文中三年 甲寅紀元二千三十四年 正月廿九日陽曆三月廿日乙未

在位 十八年七ヶ月自紀元二千一十二年八月至紀元二千三十一年二月

聖壽 三十七自紀元千九百九十八年至紀元二千三十四年

山陵 應安七年南朝文中三年 甲寅二月三日己亥 葬山城國紀伊郡深草法華堂陵今京都府

都府下山城國紀伊郡深草村大字深草字坊

後圓融天皇

諱 緒仁

御父 後光嚴天皇 第二子
御母 准三宮藤原仲子

降誕 延文三年南朝正平十三年 戊戌紀元二千一十八年 十二月十二日丙子

立太子 應安四年南朝建德二年 辛亥紀元二千三十一年 三月廿三日丁巳 年十四歲

北朝第五

後圓融 後小松

受禪 同日

即位 同七年南朝文甲寅紀元二千三十四年十二月廿八日己卯年十七歲

改元 永和應安八年南朝天授元年乙卯二月二十七日丁巳 康曆永和五年南朝天授五年己未三月二十二日己丑 永德康曆三年

讓位 永德二年南朝弘和二年壬戌紀元二千四十二年四月十一日庚寅

崩御 明德四年癸酉紀元二千五十三年四月廿六日陽曆六月十四日辛丑

在位 十一年一ヶ月自紀元二千三十一年三月至紀元二千四十二年三月

聖壽 三十六自紀元二千十八年至紀元二千五十三年

山陵 同年同月廿七日壬寅葬山城國紀伊郡深草法華堂陵今京都府下山城國紀伊郡深草村大字

深草字坊

後小松天皇

諱 幹仁

御父後圓融天皇 第一子 御母准三宮藤原殿子

降誕 永和三年南朝天授三年丁巳紀元二千三十七年六月廿六日壬申

立太子 永德二年南朝弘和二年壬戌紀元二千四十二年四月十一日庚寅 六年六歲

受禪 同日

即位 同年十二月廿八日壬寅

改元 至德永德四年南朝元中元年甲子二月二十七日乙未 嘉慶至德四年南朝元中四年丁卯八月二十三日庚午 康應嘉慶三年

讓位 應永十九年壬辰紀元二千七十二年八月廿九日壬午 應永明德五年甲戌七月五日癸卯

崩御 永享五年癸丑紀元二千九十二年十月二十日陽曆十二月十日己巳

在位 北北十年七ヶ月南北合併十九年十ヶ月通計三十年四月自紀元二千四十二年四月至紀元二千七十二年七月

聖壽 五十七歲自紀元二千三十七年至紀元二千九十二年

山陵 同年同月廿七日丙子葬山城國紀伊郡深草法華堂陵今京都府下山城國紀伊郡深草村大字

深草字坊

稱光天皇

諱 實仁

御父後小松天皇 第二子 御母准三宮藤原實子

降誕 應永八年辛巳紀元二千六十二年三月廿九日午 戊
 受禪 同十九年壬辰紀元二千七十二年八月廿九日午 壬〇年十二歲
 即位 同二十一年甲午紀元二千七十四年十二月十九日子 戊〇年十四歲
 改元 正長應永三十五年戊申四月二十七日己酉
 崩御 同年紀元二千八十八年七月二十日陽曆九月八日庚午
 在位 十五年十一月自紀元二千七十二年八月至紀元二千八十八年六月
 聖壽 二十八歲自紀元二千六十八年至紀元二千八十八年
 山陵 同年八月四日甲申葬山城國紀伊郡深草法華堂陵今京都府下山城國紀伊郡深草村大字深草字坊

後花園天皇

諱 彥仁稱文德院 御父後崇光贈天皇崇光帝ノ孫ノ子 第一子
 御母准三宮源幸子

降誕 應永二十六年己亥紀元二千七十九年六月十七日庚寅
 踐祚 正長元年戊申紀元二千八十八年七月廿八日寅 戊〇年十歲
 即位 同年紀元二千八十九年十二月廿七日亥 己〇年十一歲

改元 永享正長二年己酉九月五日己酉 嘉吉永享十三年辛酉二月十七日乙酉 文安嘉吉四年甲子二月五日乙酉
 寶德文安六年己巳七月廿八日丙午 享德寶德四年壬申七月廿五日丙辰 康正享德四年乙亥七月廿五日戊戌
 長祿康正三年丁丑九月二十八日己丑 寬正長祿四年庚辰十月廿一日癸巳
 讓位 寬正五年甲申紀元二千九十四年七月十九日庚午
 崩御 文明二年庚寅紀元二千九百三十年十二月廿七日陽曆翌年一月廿七日辛未
 在位 三十六年自紀元二千八十八年七月至紀元二千九百二十四年六月
 聖壽 五十二歲自紀元二千七十九年至紀元二千九百三十一年
 山陵 同三年辛卯二月五日戊申葬丹波國桑田郡山國陵今京都府下丹波國北桑田郡山國村大字井戸

後土御門天皇

諱 成仁 御父後花園天皇 第一子
 御母准三宮藤原信子

降誕 嘉吉二年壬戌紀元二千九百二年五月廿五日乙酉
 受禪 寬正五年甲申紀元二千九百二十四年七月十九日午 庚〇年二十三歲
 即位 同六年乙酉紀元二千九百二十五年十二月廿七日子 庚〇年二十四歲

改元

文正 元正七年丙戌二月二十八日庚子

應仁 文正二年丁亥三月五日辛未

文明 應仁三年己丑四月二十八日壬午

長亨 文明十九年丁未七月二十日戊午

延德 長亨三年己酉八月二十一日丁未

明應 延德四年壬子七月十九日戊子

崩御

明應九年庚申 元正二年六月二十日庚辰

九月廿八日 陽曆十月三十一日庚辰

在位

三十六年二月 自元正二年六月二十日庚辰至元正二年八月

聖壽

五十九歲 自元正二年六月二十日庚辰至元正二年八月

山陵

同年十一月十二日 亥 葬山城國紀伊郡深草法華堂陵

今京都府下山城國紀伊郡深草村

大字深草字坊

第百五

後柏原天皇

諱 勝仁

御父後土御門天皇 第一子 御母贈皇太后源朝子

降誕

寬正五年甲申 元正二年十月二十日庚子

踐祚

明應九年庚申 元正二年十月廿五日午

丙〇年三十七歲

即位

永正十八年辛巳 元正二年三月廿二日戊戌

即位 年五十八歲 亂日久之登極二十年

ニノ始テ大禮ヲ行乙

改元

文龜 明應十年辛酉二月二十九日戊申

永正 文龜四年甲子二月三十日壬戌

大永 永正十八年辛巳八月二十三日壬寅

崩御

大永六年丙戌 元正二年四月七日庚申

陽曆五月廿八日庚申

在位

二十五年六月 自元正二年六月十日至元正二年八月三月

聖壽

六十三歲 自元正二年六月十日至元正二年八月三月

山陵

同年五月四日 丙 葬山城國紀伊郡深草法華堂陵

今京都府下山城國紀伊郡深草村大字深草字坊

第百六

後奈良天皇

諱 知仁

御父後柏原天皇 第二子 御母准三宮藤原藤子

降誕

明應五年丙辰 元正二年十二月廿三日申

元正二年十二月廿三日申

踐祚

大永六年丙戌 元正二年四月廿九日午

元正二年四月廿九日午 元正二年四月廿九日午

即位

天文五年丙申 元正二年二月廿六日壬子

元正二年二月廿六日壬子 元正二年四月十一日

改元

享祿 大永八年戊子八月二十日己未

天文 享祿五年壬辰七月二十九日乙亥

弘治 天文二十四年乙卯十月二十三日乙酉

崩御

弘治三年丁巳 元正二年九月五日乙卯

元正二年九月五日乙卯 元正二年九月五日乙卯

在位

三十一年五月 自元正二年八月四日至元正二年八月

聖壽 六十二歲 自紀元二千五百五十六年
至紀元二千二百十七年
山陵 同年十二月廿五日 甲辰 葬山城國紀伊郡深草法華堂陵 今京都府下山城國紀伊郡深草村

正親町天皇 第百七
方仁 御父後奈良天皇 第一子
御母贈皇太后藤原榮子

降誕 永正十四年丁丑 紀元二千七百十七年 五月廿九日 甲辰
踐祚 弘治三年丁巳 紀元二千二百十七年 十月廿七日 丙午 四十一歲
即位 永祿三年庚申 紀元二千二百二十年 正月廿七日 甲午 四十四歲
改元 永祿 弘治四年戊午二月二十八日丁未 元龜 永祿十三年庚午四月廿三日庚申 天正 元龜四年癸酉七月二十八日甲午
讓位 天正十四年丙戌 紀元二千二百四十六年 十一月七日 戊戌
崩御 文祿二年癸巳 紀元二千二百五十三年 正月五日 陽曆二月六日辛酉
在位 廿九年一少月 自紀元二千二百四十六年十月至紀元二千二百五十七年十月
聖壽 七十七歲 自紀元二千二百五十七年

山陵 同年二月廿三日 戊申 葬山城國紀伊郡深草法華堂陵 今京都府下山城國紀伊郡深草村大字深草字坊
後陽成天皇 第百八
周仁 初名和仁 幼名茶地丸 御父陽光院贈天皇(正親町帝)第一子

降誕 元龜二年辛未 紀元二千二百三十一年 十二月十五日 癸卯
受禪 天正十四年丙戌 紀元二千二百四十六年 十一月七日 戊戌 十六歲
即位 同年同月廿五日 丙辰
改元 文祿 天正二十年壬辰十二月八日甲午 慶長 文祿五年丙申十二月廿七日庚寅
讓位 慶長十六年辛亥 紀元二千二百七十一年 三月廿七日 丁卯
崩御 元和三年丁巳 紀元二千二百七十一年 八月廿六日 陽曆九月廿五日戊午
在位 二十四年四少月 自紀元二千二百四十六年十一月至紀元二千二百七十七年二月
聖壽 四十七歲 自紀元二千二百三十一年
山陵 同年九月廿一日 癸未 葬山城國紀伊郡深草法華堂陵 今京都府下山城國紀伊郡深草村大字

第九百
後水尾天皇

政仁

幼名三宮 御父後陽成天皇 第三子
又稱若宮 御母准三宮藤原前子

降誕 慶長元年丙申 紀元二千二百五十六年 六月四日 庚子

立太子 同十六年辛亥三月廿七日 丁卯 丁卯年十六歲

受禪 同年 紀元二千二百七十二年 三月廿七日 丁卯

即位 同年四月十二日 壬午

改元 元和 慶長二十年乙卯 七月十三日 丁亥 寬永 元和十年甲子二月三十日 甲寅

讓位 寬永六年己巳 紀元二千二百八十九年 十一月八日 己巳 (秀忠ノ要制ニ出シ)

崩御 延寶八年庚申 紀元二千三百四十年 八月十九日 陽曆九月十一日 乙亥

在位 十八年八月 自紀元二千二百七十一年三月 至紀元二千二百八十九年十月

聖壽 八十五歲 自紀元二千二百五十六年 至紀元二千三百四十年

山陵 同年閏八月八日 甲午 葬山城國愛宕郡月輪陵 今京都府京都市下京區今熊野町泉涌寺內

第一百
明正天皇

興子 幼稱女一宮

御父後水尾天皇 第二女
御母中宮源和子

降誕 元和九年癸亥 紀元二千二百八十三年 十一月十九日 乙亥

受禪 寬永六年己巳 紀元二千二百八十九年 十一月八日 己巳 (秀忠ノ要制ニ出シ)

即位 同七年庚午 紀元二千二百九十年 九月十二日 戊子 戊子年八歲

讓位 同二十年癸未 紀元二千三百三年 十月二日 甲子

崩御 元祿九年丙子 紀元二千三百五十六年 十一月十日 陽曆十二月四日 癸亥

在位 十三年十一月 自紀元二千二百八十九年十一月 至紀元二千三百三年九月

聖壽 七十四歲 自紀元二千二百八十八年 至紀元二千三百五十六年

第一百十一
後光明天皇

紹仁

幼稱紫鷄宮 御父後水尾天皇 第三子
又茶地丸 御母中宮源和子

降誕 寬永十年癸酉 紀元二千二百九十三年 三月十二日 甲辰

立太弟 同二十年癸未紀元二千三百三年十月三日甲〇年十一歲

受禪 同日

即位 同月廿一日壬午

改元 正保寬永二十一年甲申十二月十六日庚午慶安正保五年戊子二月十五日庚戌承應慶安五年壬辰九月十八日丁亥

崩御 承應三年甲午紀元二千三百十四年九月二十日陽曆十月三十日丁未

在位 十年十一月自紀元二千三百三年十月至紀元二千三百十四年八月

聖壽 二十二歲自紀元二千二百九十三年至紀元二千三百十四年

山陵 同年十月十五日辛未葬山城國愛宕郡月輪陵今京都府京都市下京區今熊野町泉涌寺內

後西院天皇

良仁幼稱秀宮 御父後水尾天皇 第六子 又桃園宮 御母中宮源和子

降誕 寬永十四年丁丑紀元二千二百九十七年十一月十六日辛巳

踐祚 承應三年甲午紀元二千三百十四年十一月廿八日甲〇年十八歲 實稱臣迎立

即位 明曆二年丙申紀元二千三百十六年正月廿三日癸〇年二十歲

改元 明曆承應四年乙未四月十三日丁卯萬治明曆四年戊戌七月二十三日戊午寬文萬治四年辛丑四月廿五日甲辰

讓位 寬文三年癸卯紀元二千三百二十三年正月廿六日乙未

崩御 貞享二年乙丑紀元二千三百四十五年二月廿二日陽曆三月廿六日壬子

在位 八年二月自紀元二千三百十四年十一月至紀元二千三百二十二年十二月

聖壽 四十九歲自紀元二千二百九十七年至紀元二千三百四十五年

山陵 同年三月七日丁卯葬山城國愛宕郡月輪陵今京都府京都市下京區今熊野町泉涌寺內

靈元天皇

識仁幼稱高貴宮 御父後水尾天皇 第十八子 御母中宮源和子

降誕 承應三年甲午紀元二千三百十四年五月廿五日甲寅

立太子 寬文三年癸卯正月廿六日乙〇年十歲 未

受禪 同年紀元二千三百二十三年正月廿六日乙未

即位 同年四月廿七日乙丑

改元 延寶寬文十三年癸丑九月二十一日丁亥天和延寶九年辛酉九月二十九日己巳貞享天和四年甲子二月二十一日丁巳

讓位 貞享四年丁卯 紀元二千三百四十七年 三月二十一日 己亥
 崩御 享保十七年壬子 紀元二千三百九十二年 八月六日 陽曆九月廿四日庚申
 在位 二十四年二月 自紀元二千三百二十三年正月 至紀元二千三百四十七年二月
 聖壽 七十九歲 自紀元二千三百十四年 至紀元二千三百九十二年
 山陵 同年同月廿九日 葬山城國愛宕郡月輪陵 今京都府京都市下京區今熊野町泉涌寺內

東山天皇

諱 朝仁

幼稱 五宮

御父 靈元天皇 第四子
 御母 中宮藤原房子

降誕 延寶三年乙卯 紀元二千三百三十五年 九月三日 戊子
 立太子 天和三年癸亥二月九日 壬〇年九歲
 受禪 貞享四年丁卯 紀元二千三百四十七年 三月廿一日 己〇年十三歲
 即位 同年四月廿八日 亥乙
 改元 元祿 貞享五年戊辰九月三十日己亥 寶永 元祿十七年甲申三月十三日壬子
 讓位 寶永六年己丑 紀元二千三百六十九年 六月廿一日 庚申

崩御 同年十二月十七日 陽曆翌年一月十六日癸丑
 在位 二十三年三月 自紀元二千三百四十七年三月 至紀元二千三百六十九年五月
 聖壽 三十五歲 自紀元二千三百三十五年 至紀元二千三百六十九年
 山陵 同七年庚寅正月十日 葬山城國愛宕郡月輪陵 今京都府京都市下京區今熊野町泉涌寺內

中御門天皇

諱 慶仁

幼稱 長宮

御父 東山天皇 第五子
 御母 中宮幸子女王

降誕 元祿十四年辛巳 紀元二千三百六十一年 十二月十七日 己巳
 立太子 寶永五年戊子二月十六日 癸〇年八歲
 受禪 同六年己丑 紀元二千三百六十九年 六月二十一日 庚〇年九歲
 即位 同七年庚寅 紀元二千三百七十年 十一月十一日 辛〇年十歲
 改元 正德 寶永八年辛卯四月二十五日甲申 享保 正德六年丙申六月二十二日庚戌
 讓位 享保二十年乙卯 紀元二千三百九十五年 三月廿一日 辛卯
 崩御 元文二年丁巳 紀元二千三百九十七年 四月十一日 陽曆五月十日己巳

在位 二十五年九ヶ月自紀元二千三百六十九年六月至紀元二千三百九十五年二月

聖壽 三十七歲自紀元二千三百六十九年至紀元二千三百九十七年

山陵 同年五月八日丙申葬山城國愛宕郡月輪陵今京都府京都市下京區今熊野町泉涌寺内

第百十六 櫻町天皇

諱 昭仁幼稱若宮 御父中御門天皇 第一子 御母贈皇太后藤原尙子

降誕 享保五年庚子紀元二千三百八十年正月朔辰

立太子 同十三年戊申六月十一日庚〇年九歲

受禪 同二十年乙卯紀元二千三百九十五年三月廿一日辛〇年十六歲

即位 同年十一月三日戊

改元 元文享保二十一年丙辰 四月二十八日壬辰 寬保元文六年辛酉二月二十七日壬戌 延享寬保四年甲子二月二十一日己巳

讓位 延享四年丁卯紀元二千四百七年五月二日辛卯

崩御 寬延三年庚午紀元二千四百十年四月廿三日陽曆五月廿八日乙未

在位 十二年二ヶ月自紀元二千三百九十五年三月至紀元二千四百十年四月

聖壽 三十一歲自紀元二千三百八十年至紀元二千四百十年

山陵 同年五月十八日己未葬山城國愛宕郡月輪陵今京都府京都市下京區今熊野町泉涌寺内

第百十七 桃園天皇

諱 遐仁幼稱八穗宮 又茶地宮 御父櫻町天皇 第一子 御母皇太后藤原舍子實藤原定子

降誕 寬保元年辛酉紀元二千四百一年二月廿九日甲子

立太子 延享四年丁卯三月十六日丙〇年七歲

受禪 同年紀元二千四百七年五月二日辛卯

即位 同年九月廿一日戊申

改元 寬延延享五年戊辰七月十二日甲午 寶曆寬延四年辛未十月二十七日庚申

崩御 寶曆十二年壬午紀元二千四百二十二年七月十二日陽曆八月三十一日癸酉

在位 十五年二ヶ月自紀元二千四百七年五月至紀元二千四百二十二年六月

聖壽 二十二歲自紀元二千四百一年至紀元二千四百二十二年

山陵 同年八月廿二日壬子葬山城國愛宕郡月輪陵今京都府京都市下京區今熊野町泉涌寺内

後櫻町天皇

第百十八
諱 智子 幼稱以茶宮 御父櫻町天皇 第二女
又 辨宮 御母皇太后藤原舍子

降誕 元文五年庚申 紀元二千四百零八年 八月三日 辛丑

踐祚 寶曆十二年壬午 紀元二千四百二十二年 七月廿七日 戊〇年三十三歲
于明正天皇ノ故事ニ因リ群臣迎立

即位 同十三年癸未 紀元二千四百二十三年 十一月廿七日 庚〇年二十四歲

改元 明和 寶曆十四年甲申 六月二日壬午

讓位 明和七年庚寅 紀元二千四百三十一年 十一月廿四日 丙寅

崩御 文化十年癸酉 紀元二千四百三十九年 閏十一月二日 陽曆十二月二日 十四日乙未

在位 八年四ヶ月 自紀元二千四百二十二年七月 至紀元二千四百三十年十月

聖壽 七十四歲 自紀元二千四百零七年 至紀元二千四百七十七年

山陵 同年十二月十六日 戊寅 葬山城國愛宕郡月輪陵 今京都府京都市下京區今熊野町泉涌寺內

第百十九
後桃園天皇

諱 英仁 幼稱若宮 御父桃園天皇 第一子
御母皇太后藤原富子

降誕 寶曆八年戊寅 紀元二千四百一十八年 七月二日 丙戌

立太子 明和五年戊子二月十九日 戊〇年十一歲

受禪 同七年庚寅 紀元二千四百二十年 十一月廿四日 丙〇年十三歲

即位 同八年辛卯 紀元二千四百二十一年 四月廿八日 戊〇年十四歲

改元 安永 明和九年壬辰十一月十六日丁未

崩御 安永八年己亥 紀元二千四百三十九年 十月廿九日 陽曆十二月六日己卯

在位 七年十一月 自紀元二千四百三十一年十一月 至紀元二千四百三十九年九月

聖壽 二十二歲 自紀元二千四百一十八年 至紀元二千四百三十九年

山陵 同年十二月十日 庚申 葬山城國愛宕郡月輪陵 今京都府京都市下京區今熊野町泉涌寺內

第百二十
光格天皇

諱 兼仁 初名師仁 御父後桃園天皇 實 慶光贈天皇(兩院與仁)第六子
幼稱胎宮 御母皇太后藤原維子 御母二品成子內親王

降誕 明和八年辛卯 紀元二千四百三十一年 八月十五日 癸未

踐祚 安永八年己亥 紀元二千四百三十九年 十一月廿五日 乙〇年九歲
已爾白尙實先帝ノ遺詔ヲ奉シテ立ツル所

即位 同九年庚子紀元二千四百四十年 十二月四日戊〇年十歲

改元 天明安永十年辛丑 四月二日乙巳 寬政天明九年己酉正 月二十五日壬午 享保寬政十三年辛酉 二月五日壬子

文化享和四年甲子二 月十一日辛未

讓位 文化十四年丁丑紀元二千四百七十七年 三月廿二日乙丑

崩御 天保十一年庚子紀元二千五百年 十一月十九日陽曆十二月十二日乙巳

在位 三十七年四ヶ月自紀元二千四百三十九年十一月至紀元二千四百七十七年二月

聖壽 七十歲自紀元二千四百三十一年至紀元二千五百年

山陵 同年十二月廿日丙子 葬山城國愛宕郡後月輪陵今京都府京都市下京區今熊野町泉涌寺内

仁孝天皇

第百二十一 惠仁幼稱寬宮

御父光格天皇 第四子 御母皇太后欣子内親王

降誕 寬政十二年庚申紀元二千四百六十年 二月廿一日甲辰

立太子 文化六年己巳三月廿四日甲〇年十歲

受禪 文化十四年丁丑紀元二千四百七十七年 三月廿二日乙〇年十八歲

即位 同年九月廿一日壬戌

改元 文政文化十五年戊寅 月二十二日己丑 天保文政十三年庚寅 十二月十日甲午 弘化天保十五年甲辰 十二月二日甲午

崩御 弘化三年丙午紀元二千五百六年 正月廿六日陽曆二月二十一日壬午

在位 二十八年十ヶ月自紀元二千四百七十七年三月至紀元二千五百五年十二月

聖壽 四十七歲自紀元二千四百六十年至紀元二千五百六年

山陵 同年三月四日己未 葬山城國愛宕郡後月輪陵今京都府京都市下京區今熊野町泉涌寺内

孝明天皇

第百二十二 統仁幼稱源宮

御父仁孝天皇 第四子 御母皇太后藤原祺子

降誕 天保二年辛卯紀元二千四百一十一年 六月十四日甲午

立太子 同十一年庚子三月十四日乙〇年十歲

踐祚 弘化三年丙午紀元二千五百六年 二月十三日己〇年十六歲

即位 同四年丁未紀元二千五百七年 九月廿三日己〇年十七歲

改元 嘉永弘化五年戊申二 月二十八日壬申 安政嘉永七年甲寅十 月廿七日壬辰 萬延安政七年庚申三 月十八日壬午

文久 萬延二年辛酉二月十九日丁丑

元治 文久四年甲子二月二十日辛卯

慶應 元治二年乙酉四月七日辛未

崩御

慶應二年丙寅

紀元二千五百二十七年

十二月廿五日

陽曆元年一月三十日庚戌

在位

二十年十月

自紀元二千五百六十二年二月至紀元二千五百二十七年十一月

聖壽

三十六歲

自紀元二千四百九十一年至紀元二千五百二十七年

山陵

同三年丁卯正月廿七日

壬午

葬山城國愛宕郡後月輪東山陵

今京都府京都市下

京區今熊野町泉涌寺內

第二百二十三

今上天皇

睦仁

稱祐宮

御父孝明天皇 第一子

御母皇太后藤原夙子 實藤原

降誕

嘉永五年壬子

紀元二千五百二十二年

九月廿二日

陽曆十一月三日己巳

踐祚

慶應三年丁卯

紀元二千五百二十七年

正月九日

甲子 年十六歲

即位

同四年戊辰

紀元二千五百二十八年

八月廿七日

辛未 年十七歲

改元

明治

慶應四年戊辰九月八日壬午

行幸

明治元年戊辰十月幸東京同年十二月還幸

奠都 同二年己巳三月奠皇居東京

原跋

國于大陸者何限。而考其歷史。莫非劉顛羸蹶之紀事。乃東瀛之表。巋然一島。斯君與斯民。三千餘年若一日。夫貧可富。弱可強。愚可智。獨此積歲恩義。誰能致之。何國能然。今也幸。享生于此國者。特不念其所由。而可乎哉。是所以著 大統明鑑也

東京逸士 小野正弘謹識

1
203

版權
所有

明治廿八年四月三日印刷
明治廿八年四月八日發行

編輯者

小柳津要人

東京市日本橋區通三丁目十四番地

印刷者

仁科衛

東京市日本橋區藥研堀町三十三番地
活版印刷所厚信舎

發行所

丸善書店

東京市日本橋區通三丁目十四番地



發行所

丸善書店

東京市日本橋區通三丁目十四番地

編輯者

小柳津要人

東京市日本橋區藥師町三十三番地

印刷者

仁科衛

東京市日本橋區通三丁目十四番地

明治廿八年四月三日發行

明治廿八年四月八日發行

明治廿八年四月三日印刷

明治廿八年四月八日印刷

定價金參拾錢

發行所

丸善書店

東京市日本橋區通三丁目十四番地

編輯者

小柳津要人

東京市日本橋區藥師町三十三番地

印刷者

仁科衛

活版印刷所厚信舎

發行所

丸善書店

東京市日本橋區通三丁目十四番地

版權
所有

